

5.3 人的被害予測

5.3.1 死者・負傷者の予測

(1) 方針

本予測では、人的被害として「建物倒壊による被害」、「急傾斜地崩壊による被害」、「火災による被害」、「津波による被害」、「ブロック塀・自動販売機等の転倒、屋外落下物による被害」、「屋内収容物移動・転倒、屋内落下物による被害」及び「揺れによる建物被害に伴う要救助者（自力脱出困難者）」を対象とし、それぞれについて被害予測を実施する。

(2) 人的被害想定手法

① 建物倒壊による人的被害

揺れによる建物被害と人口データから死者数、負傷者数を想定する内閣府（2012）の手法を採用する。

a) 死者

建物倒壊による死者は、300人以上の死者が発生した近年の5地震(鳥取地震、東南海地震、南海地震、福井地震、阪神・淡路大震災)の被害事例から算出した全壊棟数と死者数の関係を用いて、次式により想定する。

$$(\text{死者数}) = (\text{木造 死者数}) + (\text{非木造 死者数})$$

$$(\text{木造 死者数})$$

$$= t_w \times (\text{揺れによる木造全壊棟数}) \times (\text{木造建物内滞留率})$$

$$(\text{非木造 死者数})$$

$$= t_n \times (\text{揺れによる非木造全壊棟数}) \times (\text{非木造建物内滞留率})$$

$$(\text{木造建物内滞留率})$$

$$= (\text{発生時刻の木造建物内滞留人口}) \div (\text{朝5時の木造建物内滞留人口})$$

$$(\text{非木造建物内滞留率})$$

$$= (\text{発生時刻の非木造建物内滞留人口}) \div (\text{朝5時の非木造建物内滞留人口})$$

$$t_w = 0.0676 \quad t_n = 0.00840 \times \left(\frac{P_{n0}}{B_n} \div \frac{P_{w0}}{B_w} \right)$$

P_{w0} : 夜間人口(木造) P_{n0} : 夜間人口(非木造)

B_w : 建物棟数(木造) B_n : 建物棟数(非木造)

b) 負傷者

建物倒壊による負傷者は、近年の地震の鳥取西部地震、新潟県中越地震、新潟県中越沖地震、能登半島地震、岩手・宮城内陸地震の主な被災市町村、東北地方太平洋沖地震の内陸被災市町村の建物被害数（全半壊棟数）と負傷者数との関係を用いて、次式により想定する。

$$\text{(木造建物における負傷者数)} = 0.177 \times (\text{揺れによる木造全半壊棟数}) \times \alpha_w \times \beta_w$$

$$\text{(非木造建物における負傷者数)} = 0.177 \times (\text{揺れによる非木造全半壊棟数}) \times \alpha_n \times \beta_n$$

$$\text{(木造建物内滞留率)} \alpha_w$$

$$= (\text{発生時刻の木造建物内滞留人口}) / (\text{朝 5 時の木造建物内滞留人口})$$

$$\text{(非木造建物内滞留率)} \alpha_n$$

$$= (\text{発生時刻の非木造建物内滞留人口}) / (\text{朝 5 時の非木造建物内滞留人口})$$

$$\text{(建物 1 棟当たり滞留人口の全建物に対する木造建物の比率(時間帯別))} \beta_w$$

$$= (\text{木造建物 1 棟あたりの滞留人口}) / (\text{全建物 1 棟あたりの滞留人口})$$

$$\text{(建物 1 棟当たり滞留人口の全建物に対する非木造建物の比率(時間帯別))} \beta_n$$

$$= (\text{非木造建物 1 棟あたりの滞留人口}) / (\text{全建物 1 棟あたりの滞留人口})$$

② 揺れによる建物被害に伴う要救助者数(自力脱出困難者)

内閣府(2012)の手法を用いて、自力脱出困難者を算定する。自力脱出困難者数の予測手順は図5.3-1に示す。

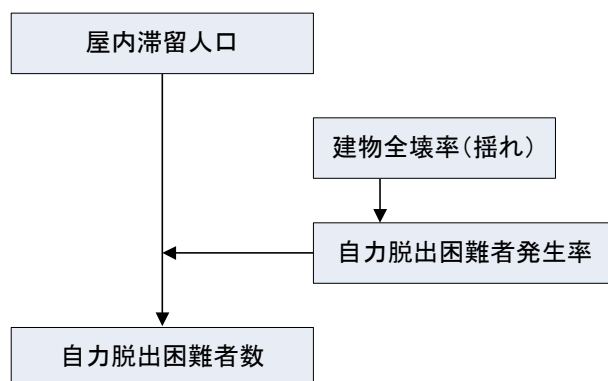


図 5.3-1 自力脱出困難者数の予測手順

自力脱出困難者数は、阪神・淡路大震災における建物全壊率と救助が必要となる自力脱出困難者の数との関係を用いた静岡県(2001)⁶や東京都(1997)⁷の手法を参考にして、自力脱出困難者を算出する。

$$\begin{aligned} & \text{自力脱出困難者数(木造、非木造別)} \\ & = 0.117 \times (\text{揺れによる建物全壊率}) \times \text{屋内人口} \end{aligned}$$

⁶ 静岡県(2001) : 第3次地震被害想定結果,静岡県,2001.5

⁷ 東京都(1997) : 東京都における直下地震の被害想定に関する調査報告書,東京都,1997.8

③ 津波による人的被害

内閣府（2012）の手法を用いて、死者・負傷者を算定する。津波による死傷者数の予測手順は図 5.3-2 に示す。

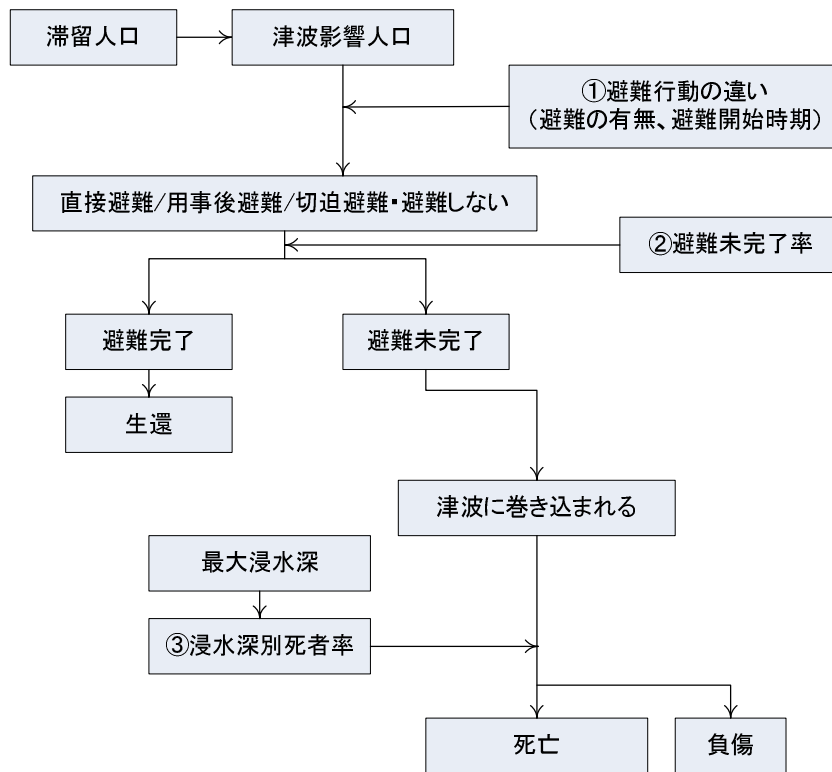


図 5.3-2 津波による死傷者数の予測手順

a) 避難行動の違い(避難の有無、避難開始時期)

東日本大震災の被災地域での調査結果(「津波避難等に関する調査結果」(内閣府・消防庁・気象庁))及び過去の津波被害(北海道南西沖地震、日本海中部地震)の避難の状況を踏まえ、次表(ア)～(エ)のような避難パターン(内閣府(2012))に設定する。

表 5.3-1 避難開始時期の設定

		避難行動別の比率		
		避難する		切迫避難 あるいは 避難しない
		すぐに避難する (直接避難)	避難するがすぐには避難しない (用事後避難)	
(ア)	早期避難者比率が低い場合	20%	50%	30%
(イ)	早期避難者比率が高い場合	70%	20%	10%
(ウ)	早期避難者比率が高い場合(避難呼びかけ)	70%	30%	0%
(エ)	全員が発災後すぐに避難を開始した場合	100%	0%	0%

b) 避難行動の違い(避難の有無、避難開始時期)

発災時の所在地から安全な場所まで避難完了できない人の割合であり、以下の考え方で算出する(内閣府(2012))。

i) 要避難メッシュの特定

最大津波浸水深が 30cm 以上となる要避難メッシュを特定する。

ii) 避難先メッシュの設定

各要避難メッシュ(避難元メッシュ)から最短距離にあり、かつ避難元メッシュよりも津波浸水深 1cm 到達時間が長い、津波浸水深 30cm 未満の避難先メッシュを特定する。

iii) 避難距離の算定

メッシュ中心間の直線距離の 1.5 倍を避難距離とする(東日本大震災の実績⁸)。

iv) 避難完了所要時間の算定

各要避難メッシュについて、避難距離を避難速度(東日本大震災の実績から平均時速 2.65km/h と設定)で割って避難完了所要時間を算出する⁹。なお、避難開始時間は、昼間発災時は、直接避難者で発災 5 分後、用事後避難者で 15 分後とし、切迫避難者は当該メッシュに津波が到達してから避難するものとする。

v) 避難成否の判定

各要避難メッシュについて、避難先メッシュの隣接メッシュにおける浸水深 30cm 到達時間と避難先メッシュまでの避難完了所要時間を比較し、避難行動者別に避難成否を判定する。

なお、避難完了/未完了の判定計算は次のように実施する。

【入力データ】

- ・ 10m メッシュ浸水深データ : $h(x, y, t)$
- ・ 10m メッシュ最大浸水深データ : $h_{\max}(x, y)$
- ・ 10m メッシュ浸水深 30 cm 到達時間 : $t_{30}(x, y)$ (地震発生からの時間)
- ・ 10m メッシュ浸水深 1 cm 到達時間 : $t_1(x, y)$ (地震発生からの時間)
- ・ 10m メッシュ内人口 : $n(x, y)$
- ・ 10m メッシュ避難行動者割合
直後避難者率 : p_i 、用事後避難者率 : p_l 、切迫避難者率 : $1 - (p_i + p_l)$
- ・ 各津波避難ビルの 30 cm 津波浸水到達時間 : t_{buil} (地震発生からの時間)

⁸ 国土交通省(2012) : 「津波避難を想定した避難路、避難施設の配置及び避難誘導について」(平成 24 年 4 月)によると、避難距離は直線距離の 1.5 倍。

⁹ 国土交通省(2012) : 「津波避難を想定した避難路、避難施設の配置及び避難誘導について」(平成 24 年 4 月)によると、避難速度は平均 2.65 km/h。

【計算手順】

1)要避難メッシュ(xm、ym)の特定

以下の条件を満たすメッシュ

$$h_{\max}(x_m, y_m) \geq 30 \text{ cm}, t_{30}(x_m, y_m) > 0$$

2)避難先メッシュ(xn、yn)の特定

各要避難メッシュ(避難元メッシュ)から最短距離にあり、かつ避難元メッシュよりも津波浸水深1cm到達時間が長い、津波浸水深30cm未満の避難先メッシュを特定する。

$$h_{\max}(x_n, y_n) < 30 \text{ cm}, t_1(x_n, y_n) - t_1(x_m, y_m) > 0$$

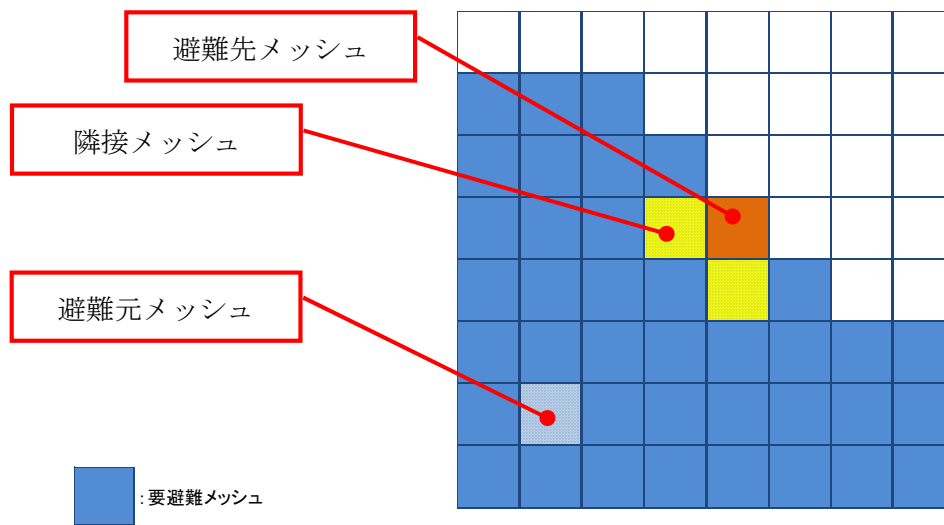


図 5.3-3 要避難メッシュと避難元メッシュ、避難先メッシュ、隣接メッシュ

3)避難距離 l_e の算定

メッシュ中心間の直線距離の 1.5 倍を避難距離 $l_e(x_m, y_m)$ とする¹⁰。

4)避難完了所要時間 t_e の算定

各要避難メッシュについて、避難完了所要時間 $t_e(x_m, y_m)$ を算出する。また、要避難メッシュと避難先メッシュの標高差が大きい場合避難に時間を要するものと考え、標高差が 5m 以上ある場合は、標高差を昇降速度 0.21m/秒¹¹で割った時間を避難完了所要時間に追加する。

$$t_e(x_m, y_m) = l_e(x_m, y_m) / 2.65 \text{ km/h}$$

5)避難成否の判定

各要避難メッシュについて、避難先メッシュの隣接メッシュにおける浸水深 30 cm 到達時間と避難先メッシュまでの避難完了所要時間を比較し、避難行動者別に避難成否を判定する。(xn-1, yn)は避難先メッシュ(xn, yn)の隣接メッシュを表す。

¹⁰ 国土交通省(2012)によれば、避難距離は直線距離の 1.5 倍

¹¹ 足立・小松・荒木(1980)：「障害者を考慮した住宅団地の研究 (その1) 歩行行動から見た障壁の分析」(日本建築学会大会学術講演梗概集)

<直後避難者>

$t_{30}(x_{n-1}, y_n) > t_e(x_m, y_m) + 5 \text{分}$ 避難完了
 $t_{30}(x_{n-1}, y_n) \leq t_e(x_m, y_m) + 5 \text{分}$ 避難失敗(津波巻き込まれ)¹²

<用事後避難者>

$t_{30}(x_{n-1}, y_n) > t_e(x_m, y_m) + 15 \text{分}$ 避難完了
 $t_{30}(x_{n-1}, y_n) \leq t_e(x_m, y_m) + 15 \text{分}$ 避難失敗(津波巻き込まれ)¹³

<切迫避難者>

$t_{30}(x_{n-1}, y_n) > t_e(x_m, y_m) + t_1$ 避難完了
 $t_{30}(x_{n-1}, y_n) \leq t_e(x_m, y_m) + t_1$ 避難失敗(津波巻き込まれ)¹⁴

¹² 直後避難者の避難開始時間を地震後 5 分(揺れが収まるまで 3 分+収まってから避難開始まで 2 分) と設定。

¹³ 「津波避難等に関する調査結果」(内閣府・消防庁・気象庁)の分析結果によれば、「用事後避難(避難するがすぐには避難しない)」の場合、東日本大震災において避難開始が早い地域で地震発生後 10 分、遅い地域で地震発生後 15 分～20 分であった。また、「津波避難を想定した避難路、避難施設の配置及び避難誘導について」(国土交通省、平成 24 年 4 月)によると、避難開始時刻として最も多いのが 15 分後であった。以上のことから、用事後避難者の避難開始時間を地震後 15 分と設定する。

¹⁴ 切迫避難者の避難開始時間を当該メッシュ津波浸水深 1 cm 到達時間 t_1 と設定。

c) 浸水深別死者率

各要避難メッシュにおける、避難未完了者（避難失敗者）に関して、死亡率曲線（浸水深 30 cm 以上で死者発生、浸水深 1 m で全員死亡という正規分布の累積分布関数：下図）を用いて、死亡者数を算出する（内閣府(2012)）。避難未完了者のうち死亡者以外（生存と想定される人）は負傷者としたが、浸水深 30 cm 未満の避難未完了者は巻き込まれても負傷しないものとする。

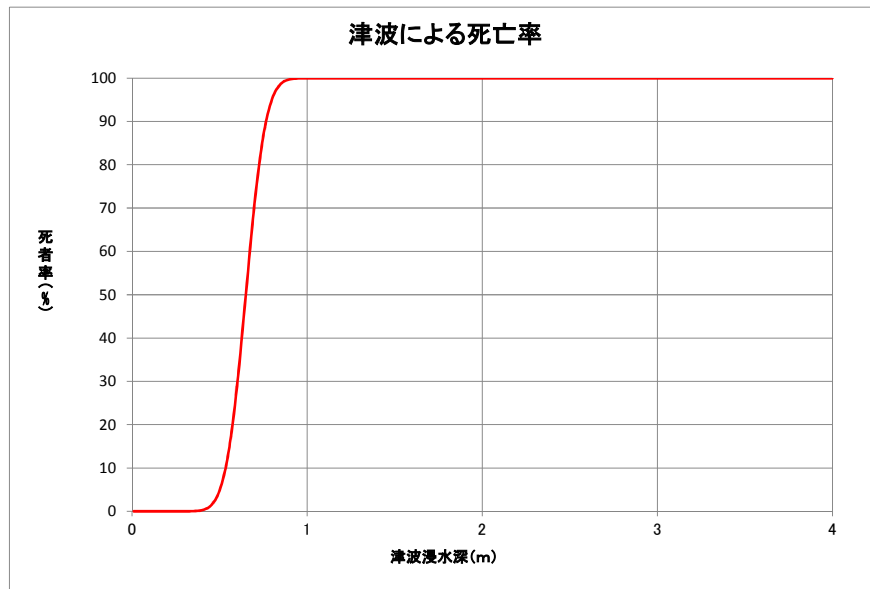


図 5.3-4 浸水深別死者率

判定対象とする浸水深は移動中メッシュ (x_{n-s}, y_{n-t}) の浸水深 $h(x_{n-s}, y_{n-t})$ とする。

< 直後避難者 >

$$h(x_{n-s}, y_{n-t}) = h_{max}(x_n, y_n) + \{h_{max}(x_m, y_m) - h_{max}(x_n, y_n)\} \times \{t_{30}(x_{n-1}, y_n) - 5 \text{ 分}\} \div t_e(x_m, y_m)$$

※ 5 分 > $t_1(x_m, y_m)$ の場合は、5 分ではなく $t_1(x_m, y_m)$ を用いる。

< 用事後避難者の場合 >

$$h(x_{n-s}, y_{n-t}) = h_{max}(x_n, y_n) + \{h_{max}(x_m, y_m) - h_{max}(x_n, y_n)\} \times \{t_{30}(x_{n-1}, y_n) - 15 \text{ 分}\} \div t_e(x_m, y_m)$$

※ 15 分 > $t_1(x_m, y_m)$ の場合は、15 分ではなく $t_1(x_m, y_m)$ を用いる。

< 切迫避難者の場合 >

$$h(x_{n-s}, y_{n-t}) = h_{max}(x_n, y_n) + \{h_{max}(x_m, y_m) - h_{max}(x_n, y_n)\} \times \{t_{30}(x_{n-1}, y_n) - t_1(x_m, y_m)\} \div t_e(x_m, y_m)$$

d) その他考慮事項

★夜間における避難開始の遅れ、避難速度低下の考慮

・東北地方太平洋沖地震は昼間の発生(14時46分発生)であったが、夜間発災の場合にはより避難が遅れることが想定される。「津波避難を想定した避難路、避難施設の配置および避難誘導について」(国土交通省、平成24年4月)によると、東日本大震災の沿岸被災地における徒歩での避難速度は2.65 km/hであり、これまでの目安(3.60 km/h)よりも低い値となっている。一方、夜間に発生した1993年北海道南西沖地震(22時22分発生)では平均的な避難速度は51.3m/分(3.08 km/h)[「1993年北海道南西沖地震の総合調査研究報告」(東京都立大学都市研究センター、1994年3月)]であり、東日本大震災のほうが避難速度は遅い。ただし、東日本大震災を含め過去の地震災害における犠牲者は60歳以上の高齢者の占める割合が高く、60歳以上に限定した分析をしたところ、東日本大震災の2.59 km/h(ただし、津波到達前に避難を開始した人で、一人で徒歩避難した人)に対して、北海道南西沖地震では2.09 km/hであった。ここでは、就寝中の深夜の場合には、避難開始は昼間に比べてさらに5分準備に時間がかかると仮定するとともに、見通しの悪い夜間、夕方の場合には、避難速度も昼間の80%(2.09/2.59)に低下すると仮定した。ただし、切迫避難者については、夜間、夕方も昼間と同様、津波浸水深1cm到達時間を避難開始時間とする。

★高層階滞留者の考慮

- ・襲来する津波の最大浸水深に応じてそれよりも高い高層階の滞留者は避難せずにとどまることができる場合を考慮した。
- ・最大浸水深別の避難対象者を次のように設定した。

表5.3-2 最大浸水深と高層建物内の避難対象者

最大浸水深	避難対象者
30cm以上6m未満	1、2階滞留者が避難
6m以上15m未満	1～5階滞留者が避難
15m以上30m未満	1～10階滞留者が避難
30m以上の場合	全員避難

★揺れによる建物倒壊に伴う死者及び自力脱出困難者の考慮

- ・浸水域内における揺れによる建物倒壊および、斜面崩壊に伴う死者については、建物倒壊による死者としてカウントし、津波による人的被害からは除く。
- ・浸水域内における揺れによる建物倒壊に伴う自力脱出困難者(うち生存者)については、津波による死者としてカウントするものとする(近隣住民等による救助活動が行われずに、建物倒壊により閉じ込められた状態で浸水する可能性があるとともに、浸水地域の救助活動が難航し、一定時間を経過すると生存率が低下することを考慮)。

- (1) 津波による死者数の計算前に、滞留人口から、建物倒壊および、斜面崩壊による死者数を差し引いておくことで、津波による死者数と建物倒壊および、斜面崩壊による死傷者数の重複を回避する。

津波による人的被害計算で用いる滞留人口

$$= \text{滞留人口} - \text{建物倒壊および、斜面崩壊による死者数}$$

- (2) 自力脱出困難者数から建物倒壊による死者数を差し引いた分(=自力脱出困難生存者数)のうち、津波浸水域内で発生した分を算定した津波による死者数に加算する。

津波による死者増分＝

$$\text{浸水域内の揺れによる建物倒壊に伴う自力脱出困難者数} - \text{浸水域内の揺れによる建物倒壊による死者数}$$

浸水域内の自力脱出困難生存者のすべてが津波に巻き込まれて死亡するとは限らない。しかし、津波浸水域での救助活動は津波警報等が出ている中で制限され、救助活動を開始しても救助には相当の時間を要すると考えられる。夜間の救助にもなるとさらに活動は困難となり、生き埋め者の生存率は時間とともに減少する。このため、ここでは津波浸水域内の自力脱出困難生存者は、津波浸水深の大小にかかわらず、全員死亡するものとする。

★年齢構成を考慮した死傷者数の算定

- ・東日本大震災における岩手、宮城、福島の被災地域では、生存者においては高齢者ほど直後の避難率が高い傾向があるが、65歳以上及び75歳以上の方は結果として死者率が他年齢に比べて高い。ここでは、年齢構成が東日本大震災の被災地の状況よりも高齢化していれば津波に巻き込まれる可能性がより高いものとする。
- ・各市町村における年齢構成を考慮した人的被害を推定するため、平成22年国勢調査に基づく市町村別の年齢区分比率をもとにして、次式により人的被害補正係数を算出し、算出した市町村別死傷者数に掛け合わせるものとする。

市町村別の人的被害補正係数

$= \Sigma(\text{年齢区分別比率} \times \text{年齢区分別重み係数})$

$= 15\text{歳未満人口比率} \times 0.34 + 15\sim 64\text{歳人口比率} \times 0.62$

$+ 65\text{歳}\sim 74\text{歳人口比率} \times 1.79 + 75\text{歳以上人口比率} \times 2.81$

④ 急傾斜地崩壊による人的被害

揺れにより引き起こされた土砂災害による建物被害と人口データから死者数、負傷者数を想定する内閣府（2012）の手法を採用する。

東京都防災会議（1991）¹⁵の手法に従い、1967年から1981年までの崖崩れの被害実態から求められた被害棟数と死者数・負傷者数との関係式を用いて、次式により想定する。

なお、木造建物の大破棟数は、全壊棟数×0.7に等しいものとする。

$$\begin{aligned}(\text{死者数}) &= 0.098 \times (\text{急傾斜地崩壊による全壊棟数}) \times 0.7 \times (\text{木造建物内滞留者人口比率}) \\ (\text{負傷者数}) &= 1.25 \times (\text{死者数})\end{aligned}$$

ここで、(木造建物内滞留人口比率)

$= (\text{発生時刻の木造建物内滞留人口}) \div (\text{木造建物内滞留人口の24時間平均})$

¹⁵ 東京都防災会議（1991）：東京における地震被害の想定に関する調査研究，東京都，1991.9

⑤ 火災による人的被害

火災による人的被害は、炎上出火家屋内からの逃げ遅れや、倒壊後に焼失した家屋内の救出困難者（生き埋め等）、延焼拡大時の逃げまどいと人口データから、死者数、負傷者数を想定する内閣府（2013）¹⁶の手法を用いる。

表 5.3-3 火災による死者発生シナリオ

死者発生シナリオ	備考
炎上出火家屋内からの逃げ遅れ	出火直後：突然の出火により逃げ遅れた人（揺れによる建物倒壊を伴わない）
倒壊後に焼失した家屋内の救出困難者（生き埋め等）	出火直後：揺れによる建物被害で建物内に閉じ込められた後に出火し、逃げられない人
	延焼中：揺れによる建物被害で建物内に閉じ込められた後に延焼が及び、逃げられない人
延焼拡大時の逃げまどい	延焼中：建物内には閉じ込められていないが、避難にとまどっている間に延焼が拡大し、巻き込まれて焼死する人

a) 死者

火災による死者は、以下の i)～iii)の合計より想定する。

i) 炎上出火家屋からの逃げ遅れ

$$(\text{炎上出火家屋内から逃げ遅れた死者数}) = 0.046 \times \text{出火件数} \times (\text{屋内滞留人口比率})$$

※係数 0.046 は、平成 17 年～22 年の 5 年間の全国における 1 建物出火（放火を除く）当たりの死者数

ここで、(屋内滞留人口比率) = (発生時刻の屋内滞留人口) ÷ (屋内滞留人口の 24 時間平均)

ii) 倒壊後に焼失した家屋内の救出困難者

$$(\text{閉込めによる死者数}) = (\text{倒壊かつ焼失家屋内の救出困難な人}) \times (1 - \text{生存救出率}(0.387))$$

ここで、(倒壊かつ焼失家屋内の救出困難な人)

$$= (1 - \text{早期救出可能な割合}(0.72)) \times (\text{倒壊かつ焼失家屋内の要救助者数})$$

(倒壊かつ焼失家屋内の要救助者数)

$$= (\text{建物倒壊による自力脱出困難者数}) \times (\text{倒壊かつ焼失の棟数} / \text{倒壊建物数})$$

¹⁶ 内閣府(2013)：被害想定手法の概要 ～人的・物的被害～，防災対策推進検討会議 首都直下地震対策検討ワーキンググループ，2013.12

iii) 延焼拡大時の逃げまどい

通常の大火は地震火災とは状況が異なると考え、関東地震と、大火のうち被害の大きかった函館大火を基にした焼失率と火災による死者率との関係¹⁷を用い、火災による死者数を次式により想定する。

延焼拡大時の逃げまどいによる死者数は、火災による死者数から、炎上出火家屋内から逃げ遅れた死者数及び閉込めによる死者数を除去することで想定する。

$$(\text{火災による死者数}) = 0.0197 \times \text{世帯焼失率} \times \text{滞留人口}$$

$$\begin{aligned} (\text{延焼拡大時の逃げまどいによる死者数}) = & (\text{火災による死者数}) \\ & - (\text{炎上出火家屋内から逃げ遅れた死者数}) - (\text{閉込めによる死者数}) \end{aligned}$$

b) 負傷者

火災による負傷は、以下の iv)～v)の合計より想定する。

iv) 炎上出火家屋からの逃げ遅れ

$$(\text{出火直後の火災による重傷者数}) = 0.075 \times \text{出火件数} \times (\text{屋内滞留人口比率})$$

$$(\text{出火直後の火災による軽傷者数}) = 0.187 \times \text{出火件数} \times (\text{屋内滞留人口比率})$$

ここで、(屋内滞留人口比率) = (発生時刻の屋内滞留人口) ÷ (屋内滞留人口の 24 時間平均)

v) 延焼拡大時の逃げまどい

$$(\text{延焼火災による重傷者数}) = 0.0053 \times \text{焼失人口}$$

$$(\text{延焼火災による軽傷者数}) = 0.0136 \times \text{焼失人口}$$

ここで、焼失人口 = (市区町村別焼失率) × (発生時刻の市区町村別滞留人口)

¹⁷ 諸井・武村(2004)：諸井孝文・武村雅之, 関東地震(1923年9月1日)による被害要因別死者数の推定, 日本地震工学会論文集, 第4巻, 第4号, 日本地震工学会, 2004

⑥ ブロック塀・自動販売機等の転倒、屋外落下物による被害

内閣府(2012)の手法を採用する。

a) ブロック塀等の倒壊

ブロック塀等の転倒数と、1978年の宮城県沖地震時のブロック塀等の被害件数と死傷者数との関係（東京都(1997)¹⁸、愛知県(2003)¹⁹）から設定された死傷者率を用いて、次式により死傷者数を想定する。

なお、死傷者率は、1978年の宮城県沖地震時の仙台市の屋外人口密度(1689.16/km²)を前提としているため、各市町村における屋外人口密度に応じて補正する。その際、各市町村の屋外人口密度は、市町村別時刻別屋外人口/(可住地面積－耕地面積)で設定する。

$$\begin{aligned} (\text{死傷者数}) &= (\text{死傷者率}) \times (\text{市町村別のブロック塀等被害件数}) \\ &\quad \times (\text{市町村別時刻別移動者数}) / (\text{市町村別 18 時移動者数}) \\ &\quad \times ((\text{市町村別屋外人口密度}) / 1689.16(\text{人}/\text{km}^2)) \end{aligned}$$

表5.3-4 死傷者率(=倒壊1件当たり死傷者数)

死者率	負傷者率	重傷者率
0.00116	0.04	0.0156

¹⁸ 東京都（1997）：東京都における直下地震の被害想定に関する調査報告書，東京都，1997.8

¹⁹ 愛知県（2003）：愛知県東海地震・東南海地震等被害予測調査報告書，愛知県，2003

<参考資料>ブロック塀等の被害数（倒壊箇所数）の想定手法

- ・内閣府(2012)の手法を採用する。

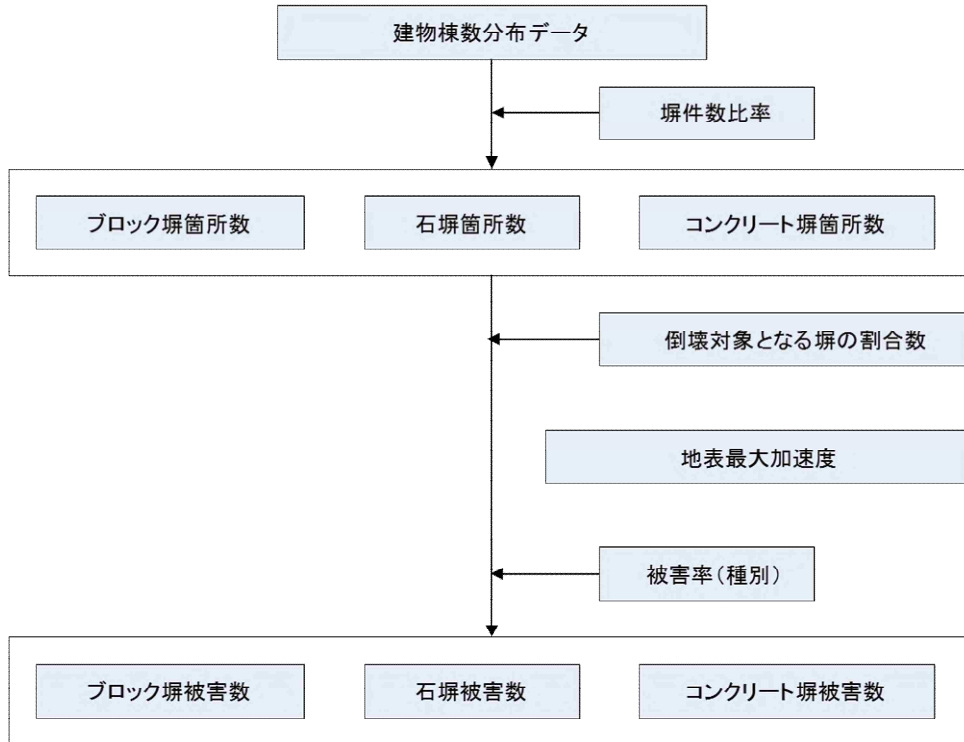


図 5.3-5 ブロック塀等の転倒箇所数の想定手順

表5.3-5 塀件数（愛知県(2003),東京都(1997)）

ブロック塀	石塀	コンクリート塀
$0.16 \times (\text{木造住宅棟数})$	$0.035 \times (\text{木造住宅棟数})$	$0.036 \times (\text{木造住宅棟数})$

表5.3-6 倒壊対象となる塀の割合（東京都(1997)）

塀の種類	外見調査の結果特に改善が必要ない塀の比率(A)	倒壊対象となる割合 ($1 - 0.5A$)
ブロック塀	0.500	0.750
石塀	0.362	0.819
コンクリート塀	0.576	0.712

$$\begin{aligned} \text{ブロック塀被害率}(\%) &= -12.6 + 0.07 \times (\text{地表最大加速度})(\text{gal}) \\ \text{石塀被害率}(\%) &= -26.6 + 0.168 \times (\text{地表最大加速度})(\text{gal}) \\ \text{コンクリート塀被害率}(\%) &= -12.6 + 0.07 \times (\text{地表最大加速度})(\text{gal}) \end{aligned}$$

b) 自動販売機の転倒

既往災害時による被害事例や被害想定手法の検討事例がないため、ブロック塀の倒壊による死傷者算定式を適用して、次式により自動販売機の転倒による死傷者数を想定する。

ただし、ブロック塀と自動販売機の幅の違いによる死傷者率の違いを考慮し、死傷者率はブロック塀等と同様とし、自動販売機とブロック塀の幅の平均長の比（1：12.2）によって補正する。

$$\begin{aligned} \text{(死傷者数)} &= \text{(死傷者率※)} \times \text{(市町村別の自動販売機被害件数)} \times \\ &\quad \text{(市町村別時刻別移動者数)} / \text{(市町村別 18 時移動者数)} \times \\ &\quad \text{((市町村別屋外人口密度)} / 1689.16 \text{(人/km}^2\text{))} \end{aligned}$$

※死傷者率＝ブロック塀の死傷者率×ブロック塀と自動販売機の幅による補正

<参考資料> 自動販売機被害数（転倒箇所数）の想定手法

- ・ 内閣府(2012)の手法を採用する。

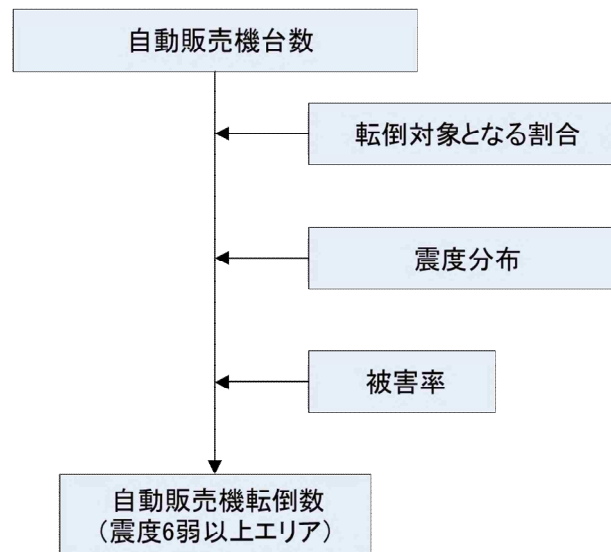


図 5.3-6 自動販売機の転倒数の想定手順

i) 自動販売機台数

$$\begin{aligned} \text{(市町村別の自動販売機台数)} &= \text{(全国自動販売機台数 : 5,092,730 台²⁰)} \\ &\quad \times \{ \text{(各市町村夜間人口)} + \text{(各市町村昼間人口)} \} \\ &\quad / \{ \text{(全国夜間人口)} + \text{(全国昼間人口)} \} \end{aligned}$$

ii) 転倒対象となる自動販売機の割合

屋外設置比率（約 6 割²¹）と転倒防止措置未対応率（約 1 割²²）より設定する。

iii) 被害率

阪神・淡路大震災時の（概ね震度 6 弱以上の地域における）転倒率により設定（埼玉県 2008）する。

阪神・淡路大震災時の（概ね震度 6 弱以上の地域における）被害率：

$$25,880 \text{ 台} / 124,100 \text{ 台} = \text{約 } 20.9\%$$

（神戸市、西宮市、尼崎市、宝塚市、芦屋市、淡路島：全数調査）

（埼玉県（2008）：平成 19 年度埼玉県地震被害想定調査報告書より）

²⁰ 日本自動販売機工業会調べ：平成 24 年末時点

²¹ 清涼飲料水メーカーへのヒアリング結果

²² 自動販売機転倒防止対策の進捗状況を踏まえて設定

c) 屋外落下物

1978年の宮城県沖地震時の落下物による被害事例に基づく、屋内落下物及び窓ガラスの屋外落下による死傷者率を適用して、次式により屋外落下物による死傷者数を想定する。

$$(\text{死傷者数}) = (\text{死傷者率}) \times \{ (\text{市町村別の落下危険性のある落下物を保有する建物棟数}) / (\text{市町村別建物棟数}) \times (\text{市町村別時刻別移動者数}) \} \times ((\text{市町村別屋外人口密度}) / 1689.16 (\text{人}/\text{km}^2))$$

表 5.3-7 屋外落下物による死傷者率(=死傷者数÷屋外人口)

	死者率	負傷者率	重傷者率
震度7	0.00504%	1.69%	0.0816%
震度6強	0.00388%	1.21%	0.0624%
震度6弱	0.00239%	0.700%	0.0383%
震度5強	0.000604%	0.0893%	0.00945%
震度5弱	0%	0%	0%
震度4以下	0%	0%	0%

(出典：火災予防審議会・東京消防庁(2005)における屋外落下物(壁面落下)と屋外ガラス被害による死者率の合算値)

※震度7を計測震度6.5相当、震度6強以下を各震度階の計測震度の中間値として内挿補間する。

<参考資料>屋外落下物の想定手法

- ・内閣府(2012)の手法を採用する。

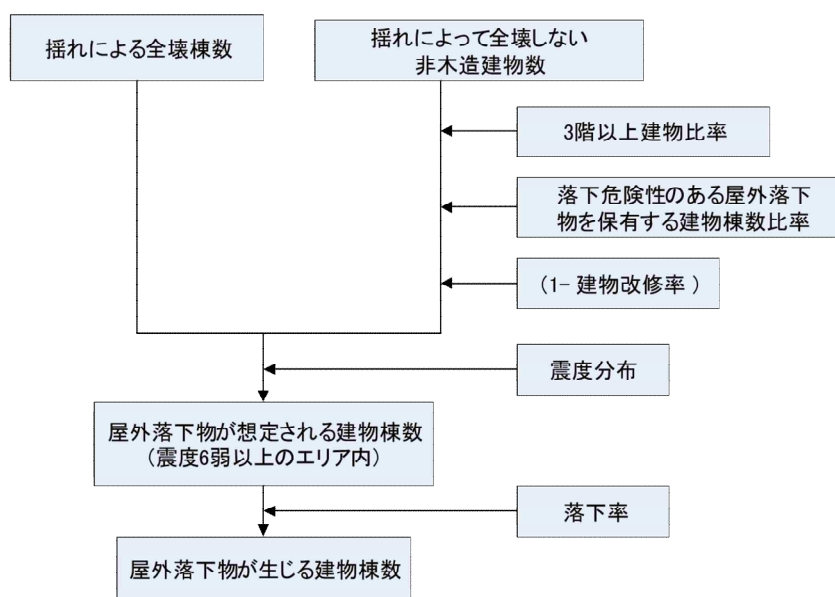


図 5.3-7 屋外落下物が生じる建物棟数の想定手順

- i) 落下危険性のある屋外落下物を保有する建物棟数比率

表 5.3-8 屋外落下物を保有する建物棟数比率

建築年代	飛散物(窓ガラス、壁面等)	非飛散物(吊り看板等)
～昭和45年	30%	17%
昭和46年～55年	6%	8%
昭和56年～	0%	3%

- ii) 建物改修率

東京都(1997)で用いている平均改修率87%を用いる。

- iii) 落下率

東京都(1997)で設定したブロック塀の被害率と同じ式を用いる。

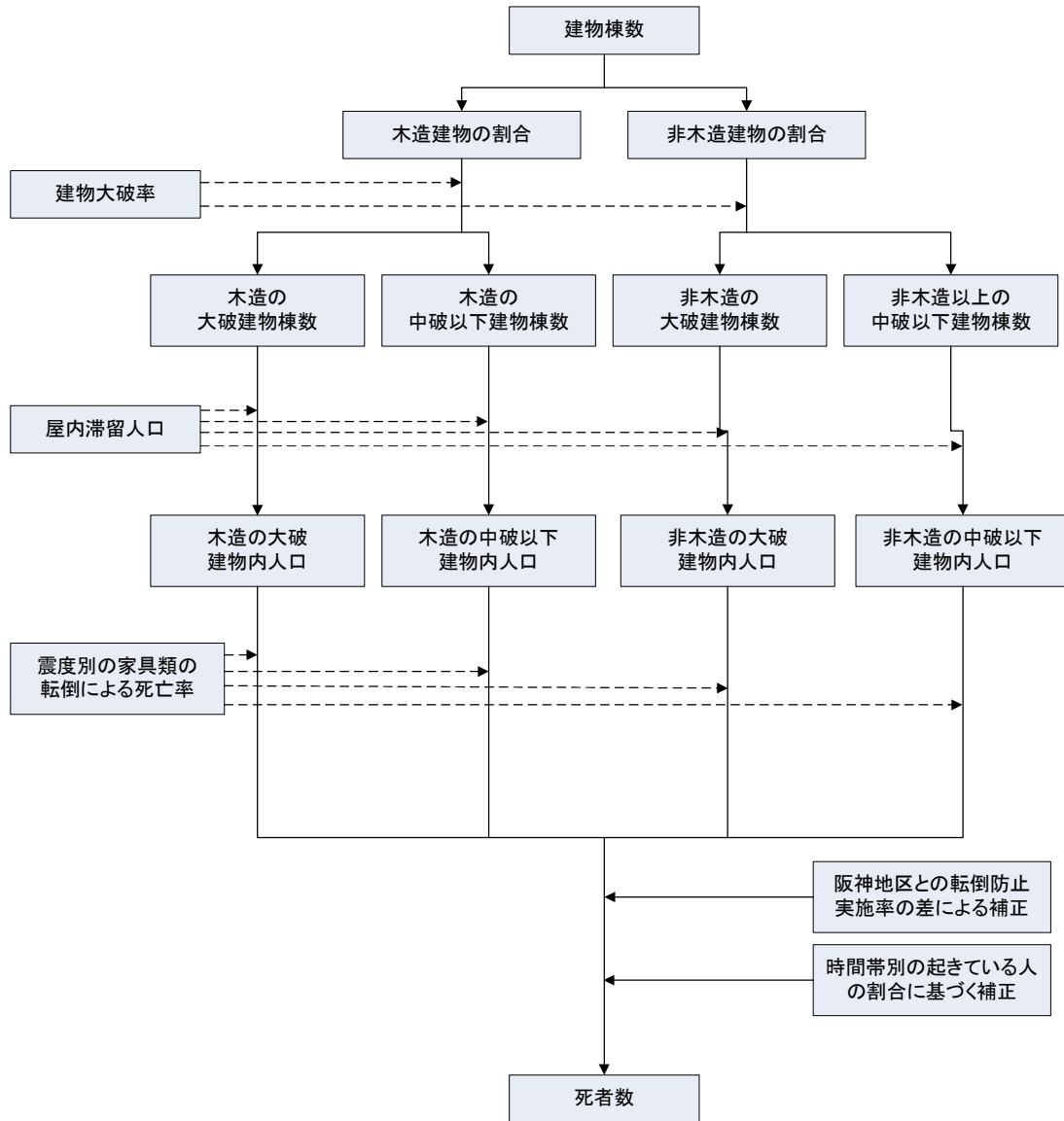
$$(\text{落下率})(\%) = -12.6 + 0.07 \times (\text{地表最大加速度})(\text{gal})$$

⑦ 屋内収容物移動・転倒、屋内落下物による被害

- ・ 内閣府(2012)の手法を採用する。
- ・ 屋内収容物移動・転倒、屋内落下物による死傷者数は、揺れによる建物被害の内数として取り扱う。

a) 屋内収容物の移動・転倒（屋内転倒物）

i) 死者



ここで木造大破率 = 木造全壊率 × 0.7、非木造大破率 = 非木造全壊率

図 5.3-8 屋内収容物の移動・転倒による死者数の想定手順

○震度別屋内転倒物による死者率

表 5.3-9 屋内転倒物による
死者率(大破の場合)

	木造建物	非木造建物
震度7	0.314%	0.192%
震度6強	0.255%	0.156%
震度6弱	0.113%	0.0688%
震度5強	0.0235%	0%
震度5弱	0.00264%	0%

表 5.3-10 屋内転倒物による
死者率(中破以下の場合)

	木造建物	非木造建物
震度7	0.00955%	0.000579%
震度6強	0.00689%	0.000471%
震度6弱	0.00343%	0.000208%
震度5強	0.000715%	0.0000433%
震度5弱	0.0000803%	0.00000487%

(出典：地震時における人口密集地域の災害危険要因の解明と消防対策について、
火災予防審議会・東京消防庁, 2005)

○阪神地区との転倒防止実施率の差による補正

死傷者率は、阪神・淡路大震災における被害事例に基づいているため、補正係数を乗じて、阪神・淡路大震災当時の阪神地区との転倒防止実施率の違いによる被害低減状況を補正する。

鳥取県における家具類の転倒防止対策実施率を全国平均の 26.2%と同等と想定し、補正係数は 0.85 とする。

○時間帯別の起きている人の割合に基づく補正

時間帯別補正係数は、深夜：1.0、昼 12 時・夕方 18 時：0.82 とする。

ii) 負傷者

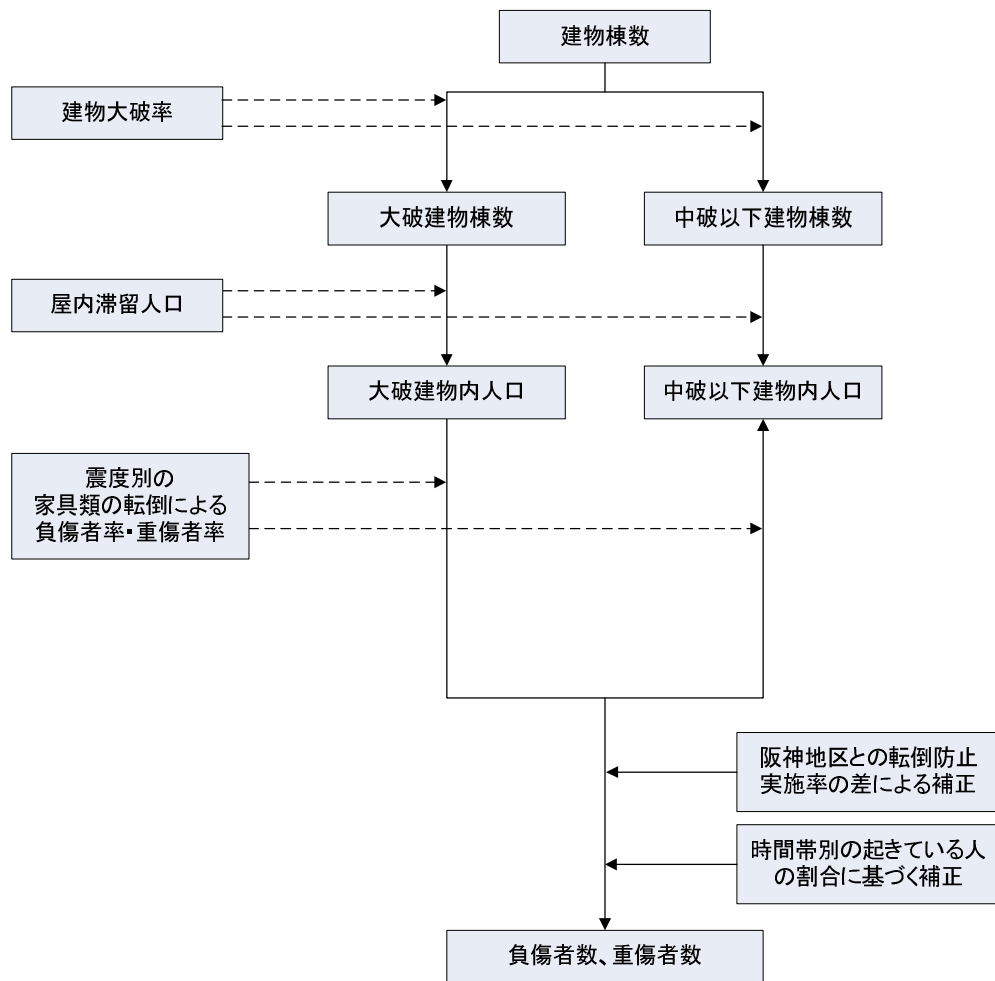


図 5.3-9 屋内収容物の移動・転倒による負傷者数の想定手順

表 5.3-11 屋内転倒物による負傷者率

	大破の場合	中破以下の場合
震度7	3.69%	0.112%
震度6強	3.00%	0.0809%
震度6弱	1.32%	0.0402%
震度5強	0.276%	0.00839%
震度5弱	0.0310%	0.000943%

(出典：地震時における人口密集地域の災害危険要因の解明と消防対策について，
火災予防審議会・東京消防庁，2005)

b) 屋内落下物

- ・ 屋内転倒物と同様の流れで算出する。
- ・ 屋内落下物による死者率及び負傷者率は、下表のとおりである。

表 5.3-12 屋内落下物による
死者率(大破の場合)

	木造建物	非木造建物
震度7	0.0776%	0.0476%
震度6強	0.0542%	0.0351%
震度6弱	0.0249%	0.0198%
震度5強	0.0117%	0%
震度5弱	0.00586%	0%

表 5.3-13 屋内落下物による
死者率(中破以下の場合)

	木造建物	非木造建物
震度7	0.00270%	0.000164%
震度6強	0.00188%	0.000121%
震度6弱	0.000865%	0.0000682%
震度5強	0.000407%	0.0000404%
震度5弱	0.000204%	0.0000227%

(出典：地震時における人口密集地域の災害危険要因の解明と消防対策について，
火災予防審議会・東京消防庁，2005)

表 5.3-14 屋内落下物による負傷者率

	大破の場合	中破以下の場合
震度7	1.76%	0.0613%
震度6強	1.23%	0.0428%
震度6弱	0.566%	0.0197%
震度5強	0.266%	0.00926%
震度5弱	0.133%	0.00463%

(出典：地震時における人口密集地域の災害危険要因の解明と消防対策について，
火災予防審議会・東京消防庁，2005)

c) 屋内ガラス被害

- ・ 屋内転倒物と同様の流れで算出する。
- ・ 屋内ガラス被害による死傷者率は、下表のとおりである。

表 5.3-15 屋内ガラス被害による死傷者率

	死者率	負傷者率
震度7	0.000299%	0.0564%
震度6強	0.000259%	0.0490%
震度6弱	0.000180%	0.0340%
震度5強	0.000101%	0.0190%
震度5弱	0.0000216%	0.00408%

(出典：地震時における人口密集地域の災害危険要因の解明と消防対策について，
火災予防審議会・東京消防庁，2005)

(3) 人的被害予測結果

各地震の人的被害予測結果を以下の図表に示す。

なお、津波による死傷者数は、表 5.3-16 に示す（ア）早期避難者比率が低い場合について予測を行った。

- ・表 5.3-17 死傷者数：断層毎の集計
- ・表 5.3-18(1) 市町村別の死傷者数：倉吉南方の推定断層
- ・表 5.3-18(2) 市町村別の死傷者数：鳥取県西部地震断層
- ・表 5.3-18(3) 市町村別の死傷者数：雨滝一釜戸断層
- ・表 5.3-18(4) 市町村別の死傷者数：鹿野・吉岡断層
- ・表 5.3-18(5) 市町村別の死傷者数：宍道（鹿島）断層（22km）
- ・表 5.3-18(6) 市町村別の死傷者数：宍道（鹿島）断層（39km）
- ・表 5.3-18(7) 市町村別の死傷者数：F55 断層（津波：大すべり右側）
- ・表 5.3-18(8) 市町村別の死傷者数：F55 断層（津波：大すべり左側）
- ・表 5.3-18(9) 市町村別の死傷者数：F55 断層（津波：大すべり中央）
- ・表 5.3-18(10) 市町村別の死傷者数：佐渡島北方沖断層

- ・表 5.3-19 自力脱出困難者数：断層毎の集計
- ・表 5.3-20(1) 市町村別の自力脱出困難者数：倉吉南方の推定断層
- ・表 5.3-20(2) 市町村別の自力脱出困難者数：鳥取県西部地震断層
- ・表 5.3-20(3) 市町村別の自力脱出困難者数：雨滝一釜戸断層
- ・表 5.3-20(4) 市町村別の自力脱出困難者数：鹿野・吉岡断層
- ・表 5.3-20(5) 市町村別の自力脱出困難者数：宍道（鹿島）断層（22km）
- ・表 5.3-20(6) 市町村別の自力脱出困難者数：宍道（鹿島）断層（39km）
- ・表 5.3-20(7) 市町村別の自力脱出困難者数：F55 断層

表 5.3-16 避難開始時期の設定

		避難行動別の比率		
		避難する		切迫避難 あるいは 避難しない
		すぐに避難する （直接避難）	避難するがすぐ には避難しない （用事後避難）	
(ア)	早期避難者比率が低い場合	20%	50%	30%
(イ)	早期避難者比率が高い場合	70%	20%	10%
(ウ)	早期避難者比率が高い場合（避難呼びかけ）	70%	30%	0%
(エ)	全員が発災後すぐに避難を開始した場合	100%	0%	0%

表 5.3-17 死傷者数：断層毎の集計

(人、%)

震源断層	季節・時間	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
			死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
			(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
倉吉南方の推定地震	冬深夜	589,000	約 280	約 10	約 1,600	約 300	約 20	約 30			約 50	約 50	*	*	約 350	約 1,600	0.1%	0.3%
	夏12時	578,000	約 100	約 10	約 1,000	約 220	約 10	約 10			約 20	約 20	*	*	約 130	約 1,100	0.0%	0.2%
	冬18時	582,000	約 210	約 10	約 1,200	約 220	約 20	約 20			約 40	約 40	*	約 10	約 260	約 1,200	0.0%	0.2%
鳥取県西部地震断層	冬深夜	589,000	約 70	約 10	約 790	約 190	約 20	約 20			-	-	*	*	約 90	約 810	0.0%	0.1%
	夏12時	578,000	約 30	*	約 440	約 140	約 10	約 10			*	*	*	*	約 30	約 450	0.0%	0.1%
	冬18時	582,000	約 50	*	約 550	約 140	約 10	約 20			約 140	約 130	*	約 10	約 200	約 710	0.0%	0.1%
雨滝一釜戸断層	冬深夜	589,000	約 40	*	約 450	約 130	約 20	約 20			-	-	*	*	約 50	約 470	0.0%	0.1%
	夏12時	578,000	約 10	*	約 240	約 100	約 10	約 10			*	*	*	*	約 20	約 250	0.0%	0.0%
	冬18時	582,000	約 30	*	約 310	約 100	約 10	約 10			*	*	*	約 10	約 40	約 330	0.0%	0.1%
鹿野・吉岡断層	冬深夜	589,000	約 530	約 30	約 3,200	約 610	約 30	約 40			約 230	約 220	*	*	約 790	約 3,500	0.1%	0.6%
	夏12時	578,000	約 210	約 20	約 1,900	約 430	約 10	約 20			約 100	約 100	*	約 10	約 330	約 2,000	0.1%	0.3%
	冬18時	582,000	約 400	約 20	約 2,300	約 460	約 20	約 30			約 200	約 200	*	約 20	約 630	約 2,500	0.1%	0.4%
宍道(鹿島)断層 (22km)	冬深夜	589,000	*	*	約 50	約 50	*	*			-	-	*	*	*	約 50	0.0%	0.0%
	夏12時	578,000	*	*	約 40	約 40	*	*			-	-	*	*	*	約 40	0.0%	0.0%
	冬18時	582,000	*	*	約 40	約 40	*	*			-	-	*	*	*	約 40	0.0%	0.0%
宍道(鹿島)断層 (39km)	冬深夜	589,000	約 30	*	約 430	約 140	*	*			-	-	*	*	約 30	約 430	0.0%	0.1%
	夏12時	578,000	約 10	*	約 260	約 110	*	*			-	-	*	*	約 10	約 260	0.0%	0.0%
	冬18時	582,000	約 20	*	約 300	約 100	*	*			*	*	*	約 10	約 20	約 310	0.0%	0.1%
F55断層 (津波:大すべり右側)	冬深夜	589,000	約 40	約 10	約 690	約 270	約 10	約 20	約 20	約 50	-	-	*	*	約 70	約 760	0.0%	0.1%
	夏12時	578,000	約 10	*	約 440	約 210	約 10	約 10	約 10	約 70	-	-	*	*	約 30	約 520	0.0%	0.1%
	冬18時	582,000	約 30	*	約 500	約 200	約 10	約 10	約 10	約 60	*	*	*	約 10	約 50	約 590	0.0%	0.1%
F55断層 (津波:大すべり左側)	冬深夜	589,000	約 40	約 10	約 690	約 270	約 10	約 20	約 10	約 180	-	-	*	*	約 60	約 890	0.0%	0.2%
	夏12時	578,000	約 10	*	約 440	約 210	約 10	約 10	約 50	約 260	-	-	*	*	約 70	約 710	0.0%	0.1%
	冬18時	582,000	約 30	*	約 500	約 200	約 10	約 10	約 40	約 220	*	*	*	約 10	約 70	約 750	0.0%	0.1%
F55断層 (津波:大すべり中央)	冬深夜	589,000	約 40	約 10	約 690	約 270	約 10	約 20	約 20	約 100	-	-	*	*	約 70	約 810	0.0%	0.1%
	夏12時	578,000	約 10	*	約 440	約 210	約 10	約 10	約 30	約 160	-	-	*	*	約 50	約 610	0.0%	0.1%
	冬18時	582,000	約 30	*	約 500	約 200	約 10	約 10	約 30	約 130	*	*	*	約 10	約 60	約 660	0.0%	0.1%
佐渡島北方冲断層	冬深夜	589,000							約 60	約 200					約 60	約 200	0.0%	0.0%
	夏12時	578,000							約 60	約 300					約 60	約 300	0.0%	0.1%
	冬18時	582,000							約 50	約 260					約 50	約 260	0.0%	0.0%

*: 数人 - : 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満 : 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満 : 10の位を四捨五入 ・10,000以上 : 100の位を四捨五入

<参考：津波による死傷者数が(ウ)早期避難者比率が高い場合(避難呼びかけ)の場合>

(人、%)

震源断層	季節・時間	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
			死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
			(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
倉吉南方の推定地震	冬深夜	589,000	約 280	約 10	約 1,600	約 300	約 20	約 30			約 50	約 50	*	*	約 350	約 1,600	0.1%	0.3%
	夏12時	578,000	約 100	約 10	約 1,000	約 220	約 10	約 10			約 20	約 20	*	*	約 130	約 1,100	0.0%	0.2%
	冬18時	582,000	約 210	約 10	約 1,200	約 220	約 20	約 20			約 40	約 40	*	約 10	約 260	約 1,200	0.0%	0.2%
鳥取県西部地震断層	冬深夜	589,000	約 70	約 10	約 790	約 190	約 20	約 20			-	-	*	*	約 90	約 810	0.0%	0.1%
	夏12時	578,000	約 30	*	約 440	約 140	約 10	約 10			*	*	*	*	約 30	約 450	0.0%	0.1%
	冬18時	582,000	約 50	*	約 550	約 140	約 10	約 20			約 140	約 130	*	約 10	約 200	約 710	0.0%	0.1%
雨滝一釜戸断層	冬深夜	589,000	約 40	*	約 450	約 130	約 20	約 20			-	-	*	*	約 50	約 470	0.0%	0.1%
	夏12時	578,000	約 10	*	約 240	約 100	約 10	約 10			*	*	*	*	約 20	約 250	0.0%	0.0%
	冬18時	582,000	約 30	*	約 310	約 100	約 10	約 10			*	*	*	約 10	約 40	約 330	0.0%	0.1%
鹿野・吉岡断層	冬深夜	589,000	約 530	約 30	約 3,200	約 610	約 30	約 40			約 230	約 220	*	*	約 790	約 3,500	0.1%	0.6%
	夏12時	578,000	約 210	約 20	約 1,900	約 430	約 10	約 20			約 100	約 100	*	約 10	約 330	約 2,000	0.1%	0.3%
	冬18時	582,000	約 400	約 20	約 2,300	約 460	約 20	約 30			約 200	約 200	*	約 20	約 630	約 2,500	0.1%	0.4%
宍道(鹿島)断層 (22km)	冬深夜	589,000	*	*	約 50	約 50	*	*			-	-	*	*	*	約 50	0.0%	0.0%
	夏12時	578,000	*	*	約 40	約 40	*	*			-	-	*	*	*	約 40	0.0%	0.0%
	冬18時	582,000	*	*	約 40	約 40	*	*			-	-	*	*	*	約 40	0.0%	0.0%
宍道(鹿島)断層 (39km)	冬深夜	589,000	約 30	*	約 430	約 140	*	*			-	-	*	*	約 30	約 430	0.0%	0.1%
	夏12時	578,000	約 10	*	約 260	約 110	*	*			-	-	*	*	約 10	約 260	0.0%	0.0%
	冬18時	582,000	約 20	*	約 300	約 100	*	*			*	*	*	約 10	約 20	約 310	0.0%	0.1%
F55断層 (津波:大すべり右側)	冬深夜	589,000	約 40	約 10	約 690	約 270	約 10	約 20	*	約 10	-	-	*	*	約 50	約 720	0.0%	0.1%
	夏12時	578,000	約 10	*	約 440	約 210	約 10	約 10	*	*	-	-	*	*	約 20	約 460	0.0%	0.1%
	冬18時	582,000	約 30	*	約 500	約 200	約 10	約 10	*	約 10	*	*	*	約 10	約 40	約 530	0.0%	0.1%
F55断層 (津波:大すべり左側)	冬深夜	589,000	約 40	約 10	約 690	約 270	約 10	約 20	*	約 40	-	-	*	*	約 50	約 740	0.0%	0.1%
	夏12時	578,000	約 10	*	約 440	約 210	約 10	約 10	*	約 30	-	-	*	*	約 20	約 480	0.0%	0.1%
	冬18時	582,000	約 30	*	約 500	約 200	約 10	約 10	*	約 30	*	*	*	約 10	約 40	約 550	0.0%	0.1%
F55断層 (津波:大すべり中央)	冬深夜	589,000	約 40	約 10	約 690	約 270	約 10	約 20	*	約 20	-	-	*	*	約 50	約 730	0.0%	0.1%
	夏12時	578,000	約 10	*	約 440	約 210	約 10	約 10	*	約 20	-	-	*	*	約 20	約 470	0.0%	0.1%
	冬18時	582,000	約 30	*	約 500	約 200	約 10	約 10	*	約 20	*	*	*	約 10	約 40	約 550	0.0%	0.1%
佐渡島北方冲断層	冬深夜	589,000							*	約 50					*	約 50	0.0%	0.0%
	夏12時	578,000							*	約 30					*	約 30	0.0%	0.0%
	冬18時	582,000							*	約 30					*	約 30	0.0%	0.0%

*: 数人 - : 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満 : 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満 : 10の位を四捨五入 ・10,000以上 : 100の位を四捨五入

表 5.3-18(1) 市町村別の死傷者数：倉吉南方の推定断層

<冬深夜>

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
201 鳥取市	197,000	*	*	約 70	約 70	*	*	/	/	-	-	*	*	約 10	約 70	0.0%	0.0%
202 米子市	148,000	*	*	*	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
203 倉吉市	51,000	約 220	約 10	約 1,100	約 160	約 10	約 10	/	/	約 50	約 50	*	*	約 280	約 1,100	0.5%	2.2%
204 境港市	35,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
302 岩美町	12,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
325 若桜町	3,900	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	7,700	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	18,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
364 三朝町	7,000	約 10	*	約 90	約 10	*	約 10	/	/	-	-	*	*	約 20	約 100	0.3%	1.4%
370 湯梨浜町	17,000	約 30	*	約 200	約 30	*	*	/	/	-	-	*	*	約 30	約 200	0.2%	1.2%
371 琴浦町	19,000	*	*	約 30	約 10	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 30	0.0%	0.2%
372 北栄町	15,000	約 10	*	約 110	約 20	*	*	/	/	-	-	*	*	約 110	約 110	0.1%	0.7%
384 日吉津村	3,300	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	17,000	*	*	*	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
389 南部町	12,000	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
390 伯耆町	12,000	*	*	*	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
401 日南町	5,500	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,700	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,400	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
合計	589,000	約 280	約 10	約 1,600	約 300	約 20	約 30	/	/	約 50	約 50	*	*	約 350	約 1,600	0.1%	0.3%

*：数人 -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

<夏12時>

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
201 鳥取市	199,000	*	*	約 60	約 60	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 70	0.0%	0.0%
202 米子市	150,000	*	*	*	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
203 倉吉市	57,000	約 80	*	約 660	約 110	*	約 10	/	/	約 20	約 20	*	*	約 110	約 690	0.2%	1.2%
204 境港市	34,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
302 岩美町	10,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
325 若桜町	3,300	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	7,200	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	14,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
364 三朝町	6,800	約 10	*	約 60	約 10	*	*	/	/	-	-	*	*	約 10	約 60	0.1%	0.9%
370 湯梨浜町	14,000	約 10	*	約 140	約 10	*	*	/	/	-	-	*	*	約 10	約 140	0.1%	1.0%
371 琴浦町	17,000	*	*	約 20	約 10	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.1%
372 北栄町	14,000	*	*	約 70	約 10	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 70	0.0%	0.5%
384 日吉津村	4,900	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	15,000	*	*	*	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
389 南部町	9,100	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
390 伯耆町	9,500	*	*	*	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
401 日南町	5,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,900	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,000	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
合計	578,000	約 100	約 10	約 1,000	約 220	約 10	約 10	/	/	約 20	約 20	*	*	約 130	約 1,100	0.0%	0.2%

*：数人 -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

< 冬 18 時 >

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
			(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)												
201 鳥取市	198,000	*	*	約 60	約 60	*	*			-	-	*	*	*	約 60	0.0%	0.0%
202 米子市	149,000	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
203 倉吉市	54,000	約 160	約 10	約 780	約 120	約 10	約 10			約 40	約 40	*	約 10	約 210	約 830	0.4%	1.5%
204 境港市	35,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
302 岩美町	11,000	-	-	-	-	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
325 若桜町	3,500	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	7,400	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	16,000	-	-	-	-	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
364 三朝町	6,900	約 10	*	約 70	約 10	*	*			*	*	*	*	約 10	約 70	0.2%	1.1%
370 湯梨浜町	15,000	約 20	*	約 150	約 20	*	*			*	*	*	*	約 30	約 160	0.2%	1.0%
371 琴浦町	18,000	*	*	約 20	約 10	*	*			-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.1%
372 北栄町	14,000	約 10	*	約 80	約 10	*	*			*	*	*	*	約 10	約 80	0.1%	0.6%
384 日吉津村	4,300	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	16,000	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
389 南部町	10,000	*	*	*	*	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
390 伯耆町	10,000	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
401 日南町	5,200	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,800	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,200	*	*	*	*	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
合計	582,000	約 210	約 10	約 1,200	約 220	約 20	約 20			約 40	約 40	*	約 10	約 260	約 1,200	0.0%	0.2%

* : 数人 - : 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満 : 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満 : 10の位を四捨五入 ・10,000以上 : 100の位を四捨五入

表 5.3-18(2) 市町村別の死傷者数：鳥取県西部地震断層

＜冬深夜＞

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
201 鳥取市	197,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
202 米子市	148,000	約 30	*	約 410	約 90	*	約 10	/	/	-	-	*	*	約 30	約 410	0.0%	0.3%
203 倉吉市	51,000	*	*	約 10	約 10	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.0%
204 境港市	35,000	*	*	約 60	約 20	-	-	/	/	-	-	*	*	*	約 60	0.0%	0.2%
302 岩美町	12,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
325 若桜町	3,900	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	7,700	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	18,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	7,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	17,000	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
371 琴浦町	19,000	*	*	約 10	約 10	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.0%
372 北栄町	15,000	*	*	*	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
384 日吉津村	3,300	*	*	約 10	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.2%
386 大山町	17,000	*	*	約 10	約 10	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
389 南部町	12,000	約 30	*	約 180	約 30	約 10	約 10	/	/	-	-	*	*	約 30	約 180	0.3%	1.6%
390 伯耆町	12,000	*	*	約 40	約 10	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 40	0.0%	0.3%
401 日南町	5,500	*	*	約 10	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 10	0.1%	0.2%
402 日野町	3,700	約 10	*	約 50	*	*	*	/	/	-	-	*	*	約 10	約 60	0.2%	1.5%
403 江府町	3,400	*	*	約 10	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 10	0.1%	0.4%
合計	589,000	約 70	約 10	約 790	約 190	約 20	約 20	/	/	-	-	*	*	約 90	約 810	0.0%	0.1%

*： 数人 -： 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

＜夏 12 時＞

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
201 鳥取市	199,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
202 米子市	150,000	約 10	*	約 220	約 70	*	*	/	/	*	*	*	*	約 20	約 220	0.0%	0.1%
203 倉吉市	57,000	*	*	約 10	約 10	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.0%
204 境港市	34,000	*	*	約 40	約 20	-	-	/	/	-	-	*	*	*	約 40	0.0%	0.1%
302 岩美町	10,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
325 若桜町	3,300	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	7,200	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	14,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	6,800	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	14,000	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
371 琴浦町	17,000	*	*	*	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
372 北栄町	14,000	*	*	*	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
384 日吉津村	4,900	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.1%
386 大山町	15,000	*	*	約 10	約 10	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.0%
389 南部町	9,100	約 10	*	約 100	約 10	*	*	/	/	-	-	*	*	約 10	約 100	0.1%	1.1%
390 伯耆町	9,500	*	*	約 20	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 30	0.0%	0.3%
401 日南町	5,000	*	*	*	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
402 日野町	3,900	*	*	約 30	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 30	0.1%	0.7%
403 江府町	3,000	*	*	約 10	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.2%
合計	578,000	約 30	*	約 440	約 140	約 10	約 10	/	/	*	*	*	*	約 30	約 450	0.0%	0.1%

*： 数人 -： 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

<冬 18 時>

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
201 鳥取市	198,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
202 米子市	149,000	約 20	*	約 280	約 70	*	*	/	/	約 140	約 130	*	約 10	約 160	約 420	0.1%	0.3%
203 倉吉市	54,000	*	*	約 10	約 10	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.0%
204 境港市	35,000	*	*	約 40	約 20	-	-	/	/	-	-	*	*	*	約 50	0.0%	0.1%
302 岩美町	11,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
325 若桜町	3,500	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	7,400	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	16,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	6,900	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	15,000	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
371 琴浦町	18,000	*	*	*	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
372 北栄町	14,000	*	*	*	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
384 日吉津村	4,300	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
386 大山町	16,000	*	*	約 10	約 10	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.0%
389 南部町	10,000	約 20	*	約 120	約 20	*	*	/	/	*	*	*	*	約 20	約 130	0.2%	1.3%
390 伯耆町	10,000	*	*	約 30	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 30	0.0%	0.3%
401 日南町	5,200	*	*	約 10	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.2%
402 日野町	3,800	*	*	約 40	*	*	*	/	/	-	-	*	*	約 10	約 40	0.2%	1.0%
403 江府町	3,200	*	*	約 10	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.3%
合計	582,000	約 50	*	約 550	約 140	約 10	約 20	/	/	約 140	約 130	*	約 10	約 200	約 710	0.0%	0.1%

* : 数人 - : 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満 : 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満 : 10の位を四捨五入 ・10,000以上 : 100の位を四捨五入

表 5.3-18(3) 市町村別の死傷者数：雨滝－釜戸断層

＜冬深夜＞

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
201 鳥取市	197,000	約 20	*	約 340	約 110	約 10	約 10			-	-	*	*	約 30	約 350	0.0%	0.2%
202 米子市	148,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
203 倉吉市	51,000	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
204 境港市	35,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
302 岩美町	12,000	約 10	*	約 80	約 10	約 10	約 10			-	-	*	*	約 20	約 90	0.2%	0.8%
325 若桜町	3,900	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.1%
328 智頭町	7,700	-	-	-	-	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
329 八頭町	18,000	*	*	約 10	約 10	*	*			-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
364 三朝町	7,000	-	-	-	-	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	17,000	*	*	*	*	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
371 琴浦町	19,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
372 北栄町	15,000	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
384 日吉津村	3,300	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	17,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
389 南部町	12,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
390 伯耆町	12,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
401 日南町	5,500	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,700	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,400	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
合計	589,000	約 40	*	約 450	約 130	約 20	約 20			-	-	*	*	約 50	約 470	0.0%	0.1%

*：数人 -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

＜夏12時＞

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
201 鳥取市	199,000	約 10	*	約 190	約 90	*	*			*	*	*	*	約 10	約 200	0.0%	0.1%
202 米子市	150,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
203 倉吉市	57,000	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
204 境港市	34,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
302 岩美町	10,000	*	*	約 40	*	*	*			-	-	*	*	約 10	約 50	0.1%	0.4%
325 若桜町	3,300	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.1%
328 智頭町	7,200	-	-	-	-	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
329 八頭町	14,000	*	*	約 10	約 10	*	*			-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
364 三朝町	6,800	-	-	-	-	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	14,000	*	*	*	*	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
371 琴浦町	17,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
372 北栄町	14,000	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
384 日吉津村	4,900	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	15,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
389 南部町	9,100	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
390 伯耆町	9,500	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
401 日南町	5,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,900	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
合計	578,000	約 10	*	約 240	約 100	約 10	約 10			*	*	*	*	約 20	約 250	0.0%	0.0%

*：数人 -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

<冬 18 時>

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	*	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	*												
201 鳥取市	198,000	約 20	*	約 240	約 80	約 10	約 10			*	*	*	約 10	約 20	約 250	0.0%	0.1%
202 米子市	149,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
203 倉吉市	54,000	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
204 境港市	35,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
302 岩美町	11,000	約 10	*	約 60	約 10	*	約 10			-	-	*	*	約 10	約 60	0.1%	0.6%
325 若桜町	3,500	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.1%
328 智頭町	7,400	-	-	-	-	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
329 八頭町	16,000	*	*	約 10	約 10	*	*			-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
364 三朝町	6,900	-	-	-	-	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	15,000	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
371 琴浦町	18,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
372 北栄町	14,000	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
384 日吉津村	4,300	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	16,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
389 南部町	10,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
390 伯耆町	10,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
401 日南町	5,200	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,800	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,200	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
合計	582,000	約 30	*	約 310	約 100	約 10	約 10			*	*	*	約 10	約 40	約 330	0.0%	0.1%

*: 数人 -: 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満 : 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満 : 10の位を四捨五入 ・10,000以上 : 100の位を四捨五入

表 5.3-18(4) 市町村別の死傷者数：鹿野・吉岡断層

＜冬深夜＞

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)												
201 鳥取市	197,000	約 530	約 30	約 3,100	約 550	約 30	約 40			約 230	約 220	*	*	約 780	約 3,400	0.4%	1.7%
202 米子市	148,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
203 倉吉市	51,000	*	*	約 20	約 20	*	*			-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.0%
204 境港市	35,000	*	*	*	*	-	-			-	-	-	-	*	*	0.0%	0.0%
302 岩美町	12,000	*	*	約 10	約 10	*	*			-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
325 若桜町	3,900	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
328 智頭町	7,700	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
329 八頭町	18,000	*	*	約 10	約 10	*	*			-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
364 三朝町	7,000	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	17,000	*	*	約 10	約 10	*	*			-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
371 琴浦町	19,000	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
372 北栄町	15,000	*	*	約 10	約 10	*	*			-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.0%
384 日吉津村	3,300	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	17,000	-	-	-	-	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
389 南部町	12,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
390 伯耆町	12,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
401 日南町	5,500	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,700	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,400	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
合計	589,000	約 530	約 30	約 3,200	約 610	約 30	約 40			約 230	約 220	*	*	約 790	約 3,500	0.1%	0.6%

*：数人 -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

＜夏12時＞

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)												
201 鳥取市	199,000	約 210	約 20	約 1,800	約 380	約 10	約 10			約 100	約 100	*	約 10	約 320	約 1,900	0.2%	1.0%
202 米子市	150,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
203 倉吉市	57,000	*	*	約 20	約 20	*	*			-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.0%
204 境港市	34,000	*	*	*	*	-	-			-	-	-	-	*	*	0.0%	0.0%
302 岩美町	10,000	*	*	約 10	*	*	*			-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
325 若桜町	3,300	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
328 智頭町	7,200	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
329 八頭町	14,000	*	*	約 10	約 10	*	*			-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.0%
364 三朝町	6,800	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	14,000	*	*	約 10	約 10	*	*			-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.0%
371 琴浦町	17,000	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
372 北栄町	14,000	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
384 日吉津村	4,900	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	15,000	*	*	*	*	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
389 南部町	9,100	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
390 伯耆町	9,500	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
401 日南町	5,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,900	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
合計	578,000	約 210	約 20	約 1,900	約 430	約 10	約 20			約 100	約 100	*	約 10	約 330	約 2,000	0.1%	0.3%

*：数人 -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

< 冬 18 時 >

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
201 鳥取市	198,000	約 400	約 20	約 2,200	約 420	約 20	約 30			約 200	約 200	*	約 20	約 620	約 2,500	0.3%	1.2%
202 米子市	149,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
203 倉吉市	54,000	*	*	約 20	約 20	*	*			-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.0%
204 境港市	35,000	*	*	*	*	-	-			-	-	-	-	*	*	0.0%	0.0%
302 岩美町	11,000	*	*	約 10	*	*	*			-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
325 若桜町	3,500	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
328 智頭町	7,400	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
329 八頭町	16,000	*	*	約 10	約 10	*	*			-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.0%
364 三朝町	6,900	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	15,000	*	*	約 10	約 10	*	*			-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.0%
371 琴浦町	18,000	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
372 北栄町	14,000	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
384 日吉津村	4,300	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	16,000	*	*	*	*	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
389 南部町	10,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
390 伯耆町	10,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
401 日南町	5,200	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,800	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,200	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
合計	582,000	約 400	約 20	約 2,300	約 460	約 20	約 30			約 200	約 200	*	約 20	約 630	約 2,500	0.1%	0.4%

*: 数人 -: 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満 : 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満 : 10の位を四捨五入 ・10,000以上 : 100の位を四捨五入

表 5.3-18(5) 市町村別の死傷者数：宍道（鹿島）断層（22km）

<冬深夜>

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
201 鳥取市	197,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
202 米子市	148,000	*	*	約 30	約 30	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 30	0.0%	0.0%
203 倉吉市	51,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
204 境港市	35,000	*	*	約 20	約 20	-	-	/	/	-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.0%
302 岩美町	12,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
325 若桜町	3,900	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	7,700	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	18,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	7,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	17,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
371 琴浦町	19,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
372 北栄町	15,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
384 日吉津村	3,300	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
386 大山町	17,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
389 南部町	12,000	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
390 伯耆町	12,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
401 日南町	5,500	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,700	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,400	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	589,000	*	*	約 50	約 50	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 50	0.0%	0.0%

*： 数人 -： 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

<夏 12 時>

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
201 鳥取市	199,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
202 米子市	150,000	*	*	約 20	約 20	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.0%
203 倉吉市	57,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
204 境港市	34,000	*	*	約 10	約 10	-	-	/	/	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.0%
302 岩美町	10,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
325 若桜町	3,300	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	7,200	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	14,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	6,800	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	14,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
371 琴浦町	17,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
372 北栄町	14,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
384 日吉津村	4,900	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
386 大山町	15,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
389 南部町	9,100	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
390 伯耆町	9,500	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
401 日南町	5,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,900	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	578,000	*	*	約 40	約 40	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 40	0.0%	0.0%

*： 数人 -： 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

<冬 18 時>

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)														
201 鳥取市	198,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
202 米子市	149,000	*	*	約 20	約 20	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.0%
203 倉吉市	54,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
204 境港市	35,000	*	*	約 10	約 10	-	-	/	/	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.0%
302 岩美町	11,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
325 若桜町	3,500	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	7,400	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	16,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	6,900	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	15,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
371 琴浦町	18,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
372 北栄町	14,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
384 日吉津村	4,300	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
386 大山町	16,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
389 南部町	10,000	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
390 伯耆町	10,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
401 日南町	5,200	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,800	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,200	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	582,000	*	*	約 40	約 40	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 40	0.0%	0.0%

*: 数人 - : 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満 : 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満 : 10の位を四捨五入 ・10,000以上 : 100の位を四捨五入

表 5.3-18(6) 市町村別の死傷者数：宍道（鹿島）断層（39km）

<冬深夜>

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)												
201 鳥取市	197,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
202 米子市	148,000	*	*	約 90	約 90	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 90	0.0%	0.1%
203 倉吉市	51,000	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
204 境港市	35,000	約 30	*	約 320	約 30	-	-	/	/	-	-	*	*	約 30	約 320	0.1%	0.9%
302 岩美町	12,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
325 若桜町	3,900	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	7,700	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	18,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	7,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	17,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
371 琴浦町	19,000	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
372 北栄町	15,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
384 日吉津村	3,300	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.1%
386 大山町	17,000	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
389 南部町	12,000	*	*	*	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
390 伯耆町	12,000	*	*	*	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
401 日南町	5,500	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
402 日野町	3,700	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,400	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
合計	589,000	約 30	*	約 430	約 140	*	*	/	/	-	-	*	*	約 30	約 430	0.0%	0.1%

*：数人 -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

<夏 12 時>

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)												
201 鳥取市	199,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
202 米子市	150,000	*	*	約 80	約 80	*	*	/	/	-	-	*	*	*	約 80	0.0%	0.1%
203 倉吉市	57,000	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
204 境港市	34,000	約 10	*	約 180	約 30	-	-	/	/	-	-	*	*	約 10	約 180	0.0%	0.5%
302 岩美町	10,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
325 若桜町	3,300	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	7,200	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	14,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	6,800	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	14,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
371 琴浦町	17,000	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
372 北栄町	14,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
384 日吉津村	4,900	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
386 大山町	15,000	*	*	*	*	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
389 南部町	9,100	*	*	*	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
390 伯耆町	9,500	*	*	*	*	*	*	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
401 日南町	5,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
402 日野町	3,900	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,000	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
合計	578,000	約 10	*	約 260	約 110	*	*	/	/	-	-	*	*	約 10	約 260	0.0%	0.0%

*：数人 -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

<冬 18 時>

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)												
201 鳥取市	198,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
202 米子市	149,000	*	*	約 70	約 70	*	*			-	-	*	*	*	約 80	0.0%	0.1%
203 倉吉市	54,000	*	*	*	*	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
204 境港市	35,000	約 20	*	約 220	約 30	-	-			*	*	*	約 10	約 20	約 230	0.1%	0.7%
302 岩美町	11,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
325 若桜町	3,500	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	7,400	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	16,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	6,900	-	-	-	-	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	15,000	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
371 琴浦町	18,000	*	*	*	*	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
372 北栄町	14,000	-	-	-	-	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
384 日吉津村	4,300	*	*	*	*	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
386 大山町	16,000	*	*	*	*	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
389 南部町	10,000	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
390 伯耆町	10,000	*	*	*	*	*	*			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
401 日南町	5,200	-	-	-	-	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
402 日野町	3,800	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,200	-	-	-	-	-	-			-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
合計	582,000	約 20	*	約 300	約 100	*	*			*	*	*	約 10	約 20	約 310	0.0%	0.1%

* : 数人 - : 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満 : 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満 : 10の位を四捨五入 ・10,000以上 : 100の位を四捨五入

表 5.3-18(7) 市町村別の死傷者数：F55 断層（津波：大すべり右側）

＜冬深夜＞

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
201 鳥取市	197,000	*	*	約 100	約 100	*	*	約 10	約 10	-	-	*	*	約 20	約 120	0.0%	0.1%
202 米子市	148,000	*	*	約 120	約 60	*	*	*	*	-	-	*	*	約 10	約 130	0.0%	0.1%
203 倉吉市	51,000	*	*	約 40	約 30	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 50	0.0%	0.1%
204 境港市	35,000	*	*	約 40	約 10	-	-	*	約 10	-	-	*	*	*	約 60	0.0%	0.2%
302 岩美町	12,000	*	*	約 10	約 10	*	*	*	約 10	-	-	*	*	約 10	約 20	0.0%	0.2%
325 若桜町	3,900	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
328 智頭町	7,700	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	18,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
364 三朝町	7,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	17,000	*	*	約 10	約 10	*	*	*	約 10	-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.1%
371 琴浦町	19,000	約 10	*	約 120	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	約 10	約 120	0.0%	0.6%
372 北栄町	15,000	*	*	約 30	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 30	0.0%	0.2%
384 日吉津村	3,300	*	*	約 10	*	-	-	-	-	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.4%
386 大山町	17,000	約 20	*	約 190	約 20	*	*	-	-	-	-	*	*	約 20	約 190	0.1%	1.1%
389 南部町	12,000	*	*	約 10	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.0%
390 伯耆町	12,000	*	*	約 10	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
401 日南町	5,500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,700	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,400	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
合計	589,000	約 40	約 10	約 690	約 270	約 10	約 20	約 20	約 50	-	-	*	*	約 70	約 760	0.0%	0.1%

*： 数人 -： 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

＜夏 12 時＞

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
201 鳥取市	199,000	*	*	約 80	約 80	*	*	約 10	約 10	-	-	*	*	約 10	約 90	0.0%	0.0%
202 米子市	150,000	*	*	約 80	約 50	*	*	*	*	-	-	*	*	*	約 80	0.0%	0.1%
203 倉吉市	57,000	*	*	約 30	約 20	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 30	0.0%	0.1%
204 境港市	34,000	*	*	約 30	約 10	-	-	約 10	約 50	-	-	*	*	約 10	約 70	0.0%	0.2%
302 岩美町	10,000	*	*	約 10	*	*	*	*	約 10	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
325 若桜町	3,300	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
328 智頭町	7,200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	14,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
364 三朝町	6,800	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	14,000	*	*	約 10	約 10	*	*	*	約 10	-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.1%
371 琴浦町	17,000	*	*	約 70	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 70	0.0%	0.4%
372 北栄町	14,000	*	*	約 20	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.1%
384 日吉津村	4,900	*	*	約 10	*	-	-	-	-	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.2%
386 大山町	15,000	約 10	*	約 110	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	約 10	約 110	0.0%	0.7%
389 南部町	9,100	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
390 伯耆町	9,500	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
401 日南町	5,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,900	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
合計	578,000	約 10	*	約 440	約 210	約 10	約 10	約 10	約 70	-	-	*	*	約 30	約 520	0.0%	0.1%

*： 数人 -： 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

<冬 18 時>

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)														
201 鳥取市	198,000	*	*	約 70	約 70	*	*	約 10	約 10	*	*	*	*	約 10	約 90	0.0%	0.0%
202 米子市	149,000	*	*	約 90	約 50	*	*	*	*	*	*	*	*	約 10	約 100	0.0%	0.1%
203 倉吉市	54,000	*	*	約 30	約 20	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 40	0.0%	0.1%
204 境港市	35,000	*	*	約 30	約 10	-	-	*	約 30	-	-	*	*	*	約 60	0.0%	0.2%
302 岩美町	11,000	*	*	約 10	*	*	*	*	約 10	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
325 若桜町	3,500	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
328 智頭町	7,400	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	16,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
364 三朝町	6,900	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	15,000	*	*	約 10	約 10	*	*	*	約 10	-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.1%
371 琴浦町	18,000	約 10	*	約 80	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	約 10	約 90	0.0%	0.5%
372 北栄町	14,000	*	*	約 20	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.2%
384 日吉津村	4,300	*	*	約 10	*	-	-	-	-	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.2%
386 大山町	16,000	約 10	*	約 140	約 10	*	*	-	-	*	*	*	*	約 10	約 140	0.1%	0.9%
389 南部町	10,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
390 伯耆町	10,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
401 日南町	5,200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,800	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,200	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
合計	582,000	約 30	*	約 500	約 200	約 10	約 10	約 10	約 60	*	*	*	約 10	約 50	約 590	0.0%	0.1%

* : 数人 - : 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満 : 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満 : 10の位を四捨五入 ・10,000以上 : 100の位を四捨五入

表 5.3-18(8) 市町村別の死傷者数：F55 断層（津波：大すべり左側）

＜冬深夜＞

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
201 鳥取市	197,000	*	*	約 100	約 100	*	*	*	約 10	-	-	*	*	約 10	約 110	0.0%	0.1%
202 米子市	148,000	*	*	約 120	約 60	*	*	*	*	-	-	*	*	約 10	約 130	0.0%	0.1%
203 倉吉市	51,000	*	*	約 40	約 30	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 50	0.0%	0.1%
204 境港市	35,000	*	*	約 40	約 10	-	-	約 10	約 120	-	-	*	*	約 10	約 160	0.0%	0.4%
302 岩美町	12,000	*	*	約 10	約 10	*	*	*	約 60	-	-	*	*	*	約 70	0.0%	0.6%
325 若桜町	3,900	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
328 智頭町	7,700	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	18,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
364 三朝町	7,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	17,000	*	*	約 10	約 10	*	*	*	*	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
371 琴浦町	19,000	約 10	*	約 120	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	約 10	約 120	0.0%	0.6%
372 北栄町	15,000	*	*	約 30	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 30	0.0%	0.2%
384 日吉津村	3,300	*	*	約 10	*	-	-	-	-	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.4%
386 大山町	17,000	約 20	*	約 190	約 20	*	*	-	-	-	-	*	*	約 20	約 190	0.1%	1.1%
389 南部町	12,000	*	*	約 10	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.0%
390 伯耆町	12,000	*	*	約 10	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
401 日南町	5,500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,700	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,400	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
合計	589,000	約 40	約 10	約 690	約 270	約 10	約 20	約 10	約 180	-	-	*	*	約 60	約 890	0.0%	0.2%

*： 数人 -： 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

＜夏 12 時＞

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
201 鳥取市	199,000	*	*	約 80	約 80	*	*	*	*	-	-	*	*	*	約 80	0.0%	0.0%
202 米子市	150,000	*	*	約 80	約 50	*	*	*	*	-	-	*	*	*	約 80	0.0%	0.1%
203 倉吉市	57,000	*	*	約 30	約 20	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 30	0.0%	0.1%
204 境港市	34,000	*	*	約 30	約 10	-	-	約 50	約 220	-	-	*	*	約 50	約 240	0.1%	0.7%
302 岩美町	10,000	*	*	約 10	*	*	*	*	約 40	-	-	*	*	*	約 50	0.0%	0.4%
325 若桜町	3,300	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
328 智頭町	7,200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	14,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
364 三朝町	6,800	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	14,000	*	*	約 10	約 10	*	*	*	*	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
371 琴浦町	17,000	*	*	約 70	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 70	0.0%	0.4%
372 北栄町	14,000	*	*	約 20	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.1%
384 日吉津村	4,900	*	*	約 10	*	-	-	-	-	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.2%
386 大山町	15,000	約 10	*	約 110	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	約 10	約 110	0.0%	0.7%
389 南部町	9,100	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
390 伯耆町	9,500	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
401 日南町	5,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,900	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
合計	578,000	約 10	*	約 440	約 210	約 10	約 10	約 50	約 260	-	-	*	*	約 70	約 710	0.0%	0.1%

*： 数人 -： 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

<冬 18 時>

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
201 鳥取市	198,000	*	*	約 70	約 70	*	*	*	*	*	*	*	*	約 10	約 80	0.0%	0.0%
202 米子市	149,000	*	*	約 90	約 50	*	*	*	*	*	*	*	*	約 10	約 100	0.0%	0.1%
203 倉吉市	54,000	*	*	約 30	約 20	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 40	0.0%	0.1%
204 境港市	35,000	*	*	約 30	約 10	-	-	約 30	約 170	-	-	*	*	約 30	約 200	0.1%	0.6%
302 岩美町	11,000	*	*	約 10	*	*	*	*	約 40	-	-	*	*	*	約 50	0.0%	0.5%
325 若桜町	3,500	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
328 智頭町	7,400	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	16,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
364 三朝町	6,900	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	15,000	*	*	約 10	約 10	*	*	*	*	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
371 琴浦町	18,000	約 10	*	約 80	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	約 10	約 90	0.0%	0.5%
372 北栄町	14,000	*	*	約 20	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.2%
384 日吉津村	4,300	*	*	約 10	*	-	-	-	-	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.2%
386 大山町	16,000	約 10	*	約 140	約 10	*	*	-	-	*	*	*	*	約 10	約 140	0.1%	0.9%
389 南部町	10,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
390 伯耆町	10,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
401 日南町	5,200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,800	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,200	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
合計	582,000	約 30	*	約 500	約 200	約 10	約 10	約 40	約 220	*	*	*	約 10	約 70	約 750	0.0%	0.1%

*: 数人 -: 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満 : 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満 : 10の位を四捨五入 ・10,000以上 : 100の位を四捨五入

表 5.3-18(9) 市町村別の死傷者数：F55 断層（津波：大すべり中央）

＜冬深夜＞

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
201 鳥取市	197,000	*	*	約 100	約 100	*	*	*	*	-	-	*	*	約 10	約 110	0.0%	0.1%
202 米子市	148,000	*	*	約 120	約 60	*	*	-	-	-	-	*	*	約 10	約 130	0.0%	0.1%
203 倉吉市	51,000	*	*	約 40	約 30	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 50	0.0%	0.1%
204 境港市	35,000	*	*	約 40	約 10	-	-	*	約 40	-	-	*	*	*	約 80	0.0%	0.2%
302 岩美町	12,000	*	*	約 10	約 10	*	*	約 10	約 50	-	-	*	*	約 10	約 60	0.1%	0.5%
325 若桜町	3,900	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
328 智頭町	7,700	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	18,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
364 三朝町	7,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	17,000	*	*	約 10	約 10	*	*	約 10	約 10	-	-	*	*	約 10	約 20	0.0%	0.1%
371 琴浦町	19,000	約 10	*	約 120	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	約 10	約 120	0.0%	0.6%
372 北栄町	15,000	*	*	約 30	約 10	*	*	*	*	-	-	*	*	*	約 30	0.0%	0.2%
384 日吉津村	3,300	*	*	約 10	*	-	-	-	-	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.4%
386 大山町	17,000	約 20	*	約 190	約 20	*	*	-	-	-	-	*	*	約 20	約 190	0.1%	1.1%
389 南部町	12,000	*	*	約 10	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.0%
390 伯耆町	12,000	*	*	約 10	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.1%
401 日南町	5,500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,700	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,400	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
合計	589,000	約 40	約 10	約 690	約 270	約 10	約 20	約 20	約 100	-	-	*	*	約 70	約 810	0.0%	0.1%

*： 数人 -： 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

＜夏 12 時＞

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
201 鳥取市	199,000	*	*	約 80	約 80	*	*	*	*	-	-	*	*	*	約 80	0.0%	0.0%
202 米子市	150,000	*	*	約 80	約 50	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 80	0.0%	0.1%
203 倉吉市	57,000	*	*	約 30	約 20	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 30	0.0%	0.1%
204 境港市	34,000	*	*	約 30	約 10	-	-	約 30	約 110	-	-	*	*	約 30	約 140	0.1%	0.4%
302 岩美町	10,000	*	*	約 10	*	*	*	約 10	約 40	-	-	*	*	約 10	約 50	0.1%	0.4%
325 若桜町	3,300	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
328 智頭町	7,200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	14,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
364 三朝町	6,800	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	14,000	*	*	約 10	約 10	*	*	*	*	-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.1%
371 琴浦町	17,000	*	*	約 70	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 70	0.0%	0.4%
372 北栄町	14,000	*	*	約 20	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.1%
384 日吉津村	4,900	*	*	約 10	*	-	-	-	-	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.2%
386 大山町	15,000	約 10	*	約 110	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	約 10	約 110	0.0%	0.7%
389 南部町	9,100	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
390 伯耆町	9,500	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
401 日南町	5,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,900	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
合計	578,000	約 10	*	約 440	約 210	約 10	約 10	約 30	約 160	-	-	*	*	約 50	約 610	0.0%	0.1%

*： 数人 -： 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

<冬 18 時>

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
201 鳥取市	198,000	*	*	約 70	約 70	*	*	*	*	*	*	*	*	約 10	約 80	0.0%	0.0%
202 米子市	149,000	*	*	約 90	約 50	*	*	-	-	*	*	*	*	約 10	約 90	0.0%	0.1%
203 倉吉市	54,000	*	*	約 30	約 20	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 40	0.0%	0.1%
204 境港市	35,000	*	*	約 30	約 10	-	-	約 20	約 80	-	-	*	*	約 20	約 110	0.0%	0.3%
302 岩美町	11,000	*	*	約 10	*	*	*	約 10	約 40	-	-	*	*	約 10	約 50	0.1%	0.5%
325 若桜町	3,500	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
328 智頭町	7,400	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	16,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
364 三朝町	6,900	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
370 湯梨浜町	15,000	*	*	約 10	約 10	*	*	*	*	-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.1%
371 琴浦町	18,000	約 10	*	約 80	約 10	*	*	-	-	-	-	*	*	約 10	約 90	0.0%	0.5%
372 北栄町	14,000	*	*	約 20	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	約 20	0.0%	0.2%
384 日吉津村	4,300	*	*	約 10	*	-	-	-	-	-	-	*	*	*	約 10	0.0%	0.2%
386 大山町	16,000	約 10	*	約 140	約 10	*	*	-	-	*	*	*	*	約 10	約 140	0.1%	0.9%
389 南部町	10,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
390 伯耆町	10,000	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
401 日南町	5,200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	3,800	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,200	*	*	*	*	*	*	-	-	-	-	*	*	*	*	0.0%	0.0%
合計	582,000	約 30	*	約 500	約 200	約 10	約 10	約 30	約 130	*	*	*	約 10	約 60	約 660	0.0%	0.1%

*: 数人 - : 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満 : 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満 : 10の位を四捨五入 ・10,000以上 : 100の位を四捨五入

表 5.3-18(10) 市町村別の死傷者数：佐渡島北方沖断層

<冬深夜>

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊		急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)												
201 鳥取市	197,000	/	/	/	/	約 10	*	/	/	/	/	約 10	*	0.0%	0.0%
202 米子市	148,000	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
203 倉吉市	51,000	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
204 境港市	35,000	/	/	/	/	約 50	約 190	/	/	/	/	約 50	約 190	0.2%	0.5%
302 岩美町	12,000	/	/	/	/	*	*	/	/	/	/	*	*	0.0%	0.0%
325 若桜町	3,900	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
328 智頭町	7,700	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
329 八頭町	18,000	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
364 三朝町	7,000	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
370 湯梨浜町	17,000	/	/	/	/	*	約 10	/	/	/	/	*	約 10	0.0%	0.1%
371 琴浦町	19,000	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
372 北栄町	15,000	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
384 日吉津村	3,300	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
386 大山町	17,000	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
389 南部町	12,000	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
390 伯耆町	12,000	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
401 日南町	5,500	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
402 日野町	3,700	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
403 江府町	3,400	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
合計	589,000	/	/	/	/	約 60	約 200	/	/	/	/	約 60	約 200	0.0%	0.0%

*: 数人 -: 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満 : 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満 : 10の位を四捨五入 ・10,000以上 : 100の位を四捨五入

<夏 12 時>

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊		急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)												
201 鳥取市	199,000	/	/	/	/	*	*	/	/	/	/	*	*	0.0%	0.0%
202 米子市	150,000	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
203 倉吉市	57,000	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
204 境港市	34,000	/	/	/	/	約 60	約 300	/	/	/	/	約 60	約 300	0.2%	0.9%
302 岩美町	10,000	/	/	/	/	*	*	/	/	/	/	*	*	0.0%	0.0%
325 若桜町	3,300	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
328 智頭町	7,200	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
329 八頭町	14,000	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
364 三朝町	6,800	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
370 湯梨浜町	14,000	/	/	/	/	*	*	/	/	/	/	*	*	0.0%	0.0%
371 琴浦町	17,000	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
372 北栄町	14,000	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
384 日吉津村	4,900	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
386 大山町	15,000	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
389 南部町	9,100	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
390 伯耆町	9,500	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
401 日南町	5,000	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
402 日野町	3,900	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
403 江府町	3,000	/	/	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-
合計	578,000	/	/	/	/	約 60	約 300	/	/	/	/	約 60	約 300	0.0%	0.1%

*: 数人 -: 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満 : 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満 : 10の位を四捨五入 ・10,000以上 : 100の位を四捨五入

< 冬 18 時 >

(人、%)

市町村	滞留人口	建物倒壊		急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)	(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)												
201 鳥取市	198,000					*	*					*	*	0.0%	0.0%
202 米子市	149,000					-	-					-	-	-	-
203 倉吉市	54,000					-	-					-	-	-	-
204 境港市	35,000					約 50	約 260					約 50	約 260	0.1%	0.7%
302 岩美町	11,000					*	*					*	*	0.0%	0.0%
325 若桜町	3,500					-	-					-	-	-	-
328 智頭町	7,400					-	-					-	-	-	-
329 八頭町	16,000					-	-					-	-	-	-
364 三朝町	6,900					-	-					-	-	-	-
370 湯梨浜町	15,000					*	約 10					*	約 10	0.0%	0.0%
371 琴浦町	18,000					-	-					-	-	-	-
372 北栄町	14,000					-	-					-	-	-	-
384 日吉津村	4,300					-	-					-	-	-	-
386 大山町	16,000					-	-					-	-	-	-
389 南部町	10,000					-	-					-	-	-	-
390 伯耆町	10,000					-	-					-	-	-	-
401 日南町	5,200					-	-					-	-	-	-
402 日野町	3,800					-	-					-	-	-	-
403 江府町	3,200					-	-					-	-	-	-
合計	582,000					約 50	約 260					約 50	約 260	0.0%	0.0%

*: 数人 - : 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満 : 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満 : 10の位を四捨五入 ・10,000以上 : 100の位を四捨五入

表 5.3-19 自力脱出困難者数：断層毎の集計 (人、%)

震源断層	季節・時間	滞留人口	自力脱出困難者	自力脱出困難者率
倉吉南方の推定断層	冬深夜	589,000	約 600	0.1
	夏12時	578,000	約 350	0.1
	冬18時	582,000	約 460	0.1
鳥取県西部地震断層	冬深夜	589,000	約 170	0.0
	夏12時	578,000	約 80	0.0
	冬18時	582,000	約 120	0.0
雨滝一釜戸断層	冬深夜	589,000	約 80	0.0
	夏12時	578,000	約 40	0.0
	冬18時	582,000	約 50	0.0
鹿野・吉岡断層	冬深夜	589,000	約 1,600	0.3
	夏12時	578,000	約 1,100	0.2
	冬18時	582,000	約 1,400	0.2
宍道(鹿島)断層 (22km)	冬深夜	589,000	*	0.0
	夏12時	578,000	*	0.0
	冬18時	582,000	*	0.0
宍道(鹿島)断層 (39km)	冬深夜	589,000	約 50	0.0
	夏12時	578,000	約 30	0.0
	冬18時	582,000	約 40	0.0
F55断層	冬深夜	589,000	約 80	0.0
	夏12時	578,000	約 40	0.0
	冬18時	582,000	約 50	0.0
佐渡島北方沖断層	冬深夜	589,000		
	夏12時	578,000		
	冬18時	582,000		

*： 数人

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っている。

・1,000未満：1の位を四捨五入　・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入　・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-20(1) 市町村別の自力脱出困難者数：倉吉南方の推定断層 (人、%)

市町村	冬深夜			夏12時			冬18時		
	滞留人口	自力脱出困難者	自力脱出困難者率	滞留人口	自力脱出困難者	自力脱出困難者率	滞留人口	自力脱出困難者	自力脱出困難者率
201 鳥取市	197,000	*	0.0%	199,000	*	0.0%	198,000	*	0.0%
202 米子市	148,000	-	-	150,000	-	-	149,000	-	-
203 倉吉市	51,000	約 480	0.9%	57,000	約 290	0.5%	54,000	約 390	0.7%
204 境港市	35,000	-	-	34,000	-	-	35,000	-	-
302 岩美町	12,000	-	-	10,000	-	-	11,000	-	-
325 若桜町	3,900	-	-	3,300	-	-	3,500	-	-
328 智頭町	7,700	-	-	7,200	-	-	7,400	-	-
329 八頭町	18,000	-	-	14,000	-	-	16,000	-	-
364 三朝町	7,000	約 30	0.4%	6,800	約 20	0.3%	6,900	約 20	0.3%
370 湯梨浜町	17,000	約 60	0.4%	14,000	約 30	0.2%	15,000	約 40	0.2%
371 琴浦町	19,000	*	0.0%	17,000	*	0.0%	18,000	*	0.0%
372 北栄町	15,000	約 20	0.2%	14,000	約 10	0.1%	14,000	約 20	0.1%
384 日吉津村	3,300	-	-	4,900	-	-	4,300	-	-
386 大山町	17,000	-	-	15,000	-	-	16,000	-	-
389 南部町	12,000	-	-	9,100	-	-	10,000	-	-
390 伯耆町	12,000	-	-	9,500	-	-	10,000	-	-
401 日南町	5,500	-	-	5,000	-	-	5,200	-	-
402 日野町	3,700	-	-	3,900	-	-	3,800	-	-
403 江府町	3,400	-	-	3,000	-	-	3,200	-	-
合計	589,000	約 600	0.1%	578,000	約 350	0.1%	582,000	約 460	0.1%

*： 数人　-： 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入　・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入　・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-20(2) 市町村別の自力脱出困難者数：鳥取県西部地震断層

(人、%)

市町村	冬深夜			夏12時			冬18時		
	滞留人口	自力脱出 困難者	自力脱出 困難者率	滞留人口	自力脱出 困難者	自力脱出 困難者率	滞留人口	自力脱出 困難者	自力脱出 困難者率
201 鳥取市	197,000	-	-	199,000	-	-	198,000	-	-
202 米子市	148,000	約 80	0.1%	150,000	約 50	0.0%	149,000	約 70	0.0%
203 倉吉市	51,000	-	-	57,000	-	-	54,000	-	-
204 境港市	35,000	*	0.0%	34,000	*	0.0%	35,000	*	0.0%
302 岩美町	12,000	-	-	10,000	-	-	11,000	-	-
325 若桜町	3,900	-	-	3,300	-	-	3,500	-	-
328 智頭町	7,700	-	-	7,200	-	-	7,400	-	-
329 八頭町	18,000	-	-	14,000	-	-	16,000	-	-
364 三朝町	7,000	-	-	6,800	-	-	6,900	-	-
370 湯梨浜町	17,000	-	-	14,000	-	-	15,000	-	-
371 琴浦町	19,000	-	-	17,000	-	-	18,000	-	-
372 北栄町	15,000	-	-	14,000	-	-	14,000	-	-
384 日吉津村	3,300	*	0.0%	4,900	*	0.0%	4,300	*	0.0%
386 大山町	17,000	-	-	15,000	-	-	16,000	-	-
389 南部町	12,000	約 70	0.6%	9,100	約 30	0.3%	10,000	約 40	0.4%
390 伯耆町	12,000	*	0.0%	9,500	*	0.0%	10,000	*	0.0%
401 日南町	5,500	*	0.0%	5,000	*	0.0%	5,200	*	0.0%
402 日野町	3,700	約 10	0.2%	3,900	*	0.1%	3,800	約 10	0.1%
403 江府町	3,400	*	0.0%	3,000	*	0.0%	3,200	*	0.0%
合計	589,000	約 170	0.0%	578,000	約 80	0.0%	582,000	約 120	0.0%

*：数人 -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-20(3) 市町村別の自力脱出困難者数：雨滝一釜戸断層

(人、%)

市町村	冬深夜			夏12時			冬18時		
	滞留人口	自力脱出 困難者	自力脱出 困難者率	滞留人口	自力脱出 困難者	自力脱出 困難者率	滞留人口	自力脱出 困難者	自力脱出 困難者率
201 鳥取市	197,000	約 60	0.0%	199,000	約 30	0.0%	198,000	約 50	0.0%
202 米子市	148,000	-	-	150,000	-	-	149,000	-	-
203 倉吉市	51,000	-	-	57,000	-	-	54,000	-	-
204 境港市	35,000	-	-	34,000	-	-	35,000	-	-
302 岩美町	12,000	約 20	0.1%	10,000	約 10	0.0%	11,000	約 10	0.1%
325 若桜町	3,900	*	0.0%	3,300	*	0.0%	3,500	*	0.0%
328 智頭町	7,700	-	-	7,200	-	-	7,400	-	-
329 八頭町	18,000	*	0.0%	14,000	*	0.0%	16,000	*	0.0%
364 三朝町	7,000	-	-	6,800	-	-	6,900	-	-
370 湯梨浜町	17,000	-	-	14,000	-	-	15,000	-	-
371 琴浦町	19,000	-	-	17,000	-	-	18,000	-	-
372 北栄町	15,000	-	-	14,000	-	-	14,000	-	-
384 日吉津村	3,300	-	-	4,900	-	-	4,300	-	-
386 大山町	17,000	-	-	15,000	-	-	16,000	-	-
389 南部町	12,000	-	-	9,100	-	-	10,000	-	-
390 伯耆町	12,000	-	-	9,500	-	-	10,000	-	-
401 日南町	5,500	-	-	5,000	-	-	5,200	-	-
402 日野町	3,700	-	-	3,900	-	-	3,800	-	-
403 江府町	3,400	-	-	3,000	-	-	3,200	-	-
合計	589,000	約 80	0.0%	578,000	約 40	0.0%	582,000	約 50	0.0%

*：数人 -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-20(4) 市町村別の自力脱出困難者数：鹿野・吉岡断層

(人、%)

市町村	冬深夜			夏12時			冬18時		
	滞留人口	自力脱出困難者	自力脱出困難者率	滞留人口	自力脱出困難者	自力脱出困難者率	滞留人口	自力脱出困難者	自力脱出困難者率
201 鳥取市	197,000	約 1,600	0.8%	199,000	約 1,100	0.5%	198,000	約 1,400	0.7%
202 米子市	148,000	-	-	150,000	-	-	149,000	-	-
203 倉吉市	51,000	*	0.0%	57,000	*	0.0%	54,000	*	0.0%
204 境港市	35,000	-	-	34,000	-	-	35,000	-	-
302 岩美町	12,000	*	0.0%	10,000	*	0.0%	11,000	*	0.0%
325 若桜町	3,900	-	-	3,300	-	-	3,500	-	-
328 智頭町	7,700	-	-	7,200	-	-	7,400	-	-
329 八頭町	18,000	*	0.0%	14,000	*	0.0%	16,000	*	0.0%
364 三朝町	7,000	*	0.0%	6,800	*	0.0%	6,900	*	0.0%
370 湯梨浜町	17,000	*	0.0%	14,000	*	0.0%	15,000	*	0.0%
371 琴浦町	19,000	-	-	17,000	-	-	18,000	-	-
372 北栄町	15,000	-	-	14,000	-	-	14,000	-	-
384 日吉津村	3,300	-	-	4,900	-	-	4,300	-	-
386 大山町	17,000	-	-	15,000	-	-	16,000	-	-
389 南部町	12,000	-	-	9,100	-	-	10,000	-	-
390 伯耆町	12,000	-	-	9,500	-	-	10,000	-	-
401 日南町	5,500	-	-	5,000	-	-	5,200	-	-
402 日野町	3,700	-	-	3,900	-	-	3,800	-	-
403 江府町	3,400	-	-	3,000	-	-	3,200	-	-
合計	589,000	約 1,600	0.3%	578,000	約 1,100	0.2%	582,000	約 1,400	0.2%

*：数人 -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-20(5) 市町村別の自力脱出困難者数：宍道（鹿島）断層（22km）

(人、%)

市町村	冬深夜			夏12時			冬18時		
	滞留人口	自力脱出困難者	自力脱出困難者率	滞留人口	自力脱出困難者	自力脱出困難者率	滞留人口	自力脱出困難者	自力脱出困難者率
201 鳥取市	197,000	-	-	199,000	-	-	198,000	-	-
202 米子市	148,000	-	-	150,000	-	-	149,000	-	-
203 倉吉市	51,000	-	-	57,000	-	-	54,000	-	-
204 境港市	35,000	*	0.0%	34,000	*	0.0%	35,000	*	0.0%
302 岩美町	12,000	-	-	10,000	-	-	11,000	-	-
325 若桜町	3,900	-	-	3,300	-	-	3,500	-	-
328 智頭町	7,700	-	-	7,200	-	-	7,400	-	-
329 八頭町	18,000	-	-	14,000	-	-	16,000	-	-
364 三朝町	7,000	-	-	6,800	-	-	6,900	-	-
370 湯梨浜町	17,000	-	-	14,000	-	-	15,000	-	-
371 琴浦町	19,000	-	-	17,000	-	-	18,000	-	-
372 北栄町	15,000	-	-	14,000	-	-	14,000	-	-
384 日吉津村	3,300	-	-	4,900	-	-	4,300	-	-
386 大山町	17,000	-	-	15,000	-	-	16,000	-	-
389 南部町	12,000	-	-	9,100	-	-	10,000	-	-
390 伯耆町	12,000	-	-	9,500	-	-	10,000	-	-
401 日南町	5,500	-	-	5,000	-	-	5,200	-	-
402 日野町	3,700	-	-	3,900	-	-	3,800	-	-
403 江府町	3,400	-	-	3,000	-	-	3,200	-	-
合計	589,000	*	0.0%	578,000	*	0.0%	582,000	*	0.0%

*：数人 -：被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-20(6) 市町村別の自力脱出困難者数：宍道（鹿島）断層（39km）（人、％）

市町村	冬深夜			夏12時			冬18時		
	滞留人口	自力脱出困難者	自力脱出困難者率	滞留人口	自力脱出困難者	自力脱出困難者率	滞留人口	自力脱出困難者	自力脱出困難者率
201 鳥取市	197,000	-	-	199,000	-	-	198,000	-	-
202 米子市	148,000	*	0.0%	150,000	*	0.0%	149,000	*	0.0%
203 倉吉市	51,000	-	-	57,000	-	-	54,000	-	-
204 境港市	35,000	約 50	0.1%	34,000	約 30	0.1%	35,000	約 40	0.1%
302 岩美町	12,000	-	-	10,000	-	-	11,000	-	-
325 若桜町	3,900	-	-	3,300	-	-	3,500	-	-
328 智頭町	7,700	-	-	7,200	-	-	7,400	-	-
329 八頭町	18,000	-	-	14,000	-	-	16,000	-	-
364 三朝町	7,000	-	-	6,800	-	-	6,900	-	-
370 湯梨浜町	17,000	-	-	14,000	-	-	15,000	-	-
371 琴浦町	19,000	-	-	17,000	-	-	18,000	-	-
372 北栄町	15,000	-	-	14,000	-	-	14,000	-	-
384 日吉津村	3,300	-	-	4,900	-	-	4,300	-	-
386 大山町	17,000	-	-	15,000	-	-	16,000	-	-
389 南部町	12,000	-	-	9,100	-	-	10,000	-	-
390 伯耆町	12,000	-	-	9,500	-	-	10,000	-	-
401 日南町	5,500	-	-	5,000	-	-	5,200	-	-
402 日野町	3,700	-	-	3,900	-	-	3,800	-	-
403 江府町	3,400	-	-	3,000	-	-	3,200	-	-
合計	589,000	約 50	0.0%	578,000	約 30	0.0%	582,000	約 40	0.0%

*： 数人 -： 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 5.3-20(7) 市町村別の自力脱出困難者数：F55 断層

(人、％)

市町村	冬深夜			夏12時			冬18時		
	滞留人口	自力脱出困難者	自力脱出困難者率	滞留人口	自力脱出困難者	自力脱出困難者率	滞留人口	自力脱出困難者	自力脱出困難者率
201 鳥取市	197,000	*	0.0%	199,000	*	0.0%	198,000	*	0.0%
202 米子市	148,000	約 10	0.0%	150,000	約 10	0.0%	149,000	約 10	0.0%
203 倉吉市	51,000	*	0.0%	57,000	*	0.0%	54,000	*	0.0%
204 境港市	35,000	*	0.0%	34,000	*	0.0%	35,000	*	0.0%
302 岩美町	12,000	*	0.0%	10,000	*	0.0%	11,000	*	0.0%
325 若桜町	3,900	-	-	3,300	-	-	3,500	-	-
328 智頭町	7,700	-	-	7,200	-	-	7,400	-	-
329 八頭町	18,000	-	-	14,000	-	-	16,000	-	-
364 三朝町	7,000	-	-	6,800	-	-	6,900	-	-
370 湯梨浜町	17,000	*	0.0%	14,000	*	0.0%	15,000	*	0.0%
371 琴浦町	19,000	約 10	0.1%	17,000	約 10	0.0%	18,000	約 10	0.1%
372 北栄町	15,000	*	0.0%	14,000	*	0.0%	14,000	*	0.0%
384 日吉津村	3,300	*	0.0%	4,900	*	0.0%	4,300	*	0.0%
386 大山町	17,000	約 40	0.2%	15,000	約 20	0.1%	16,000	約 20	0.1%
389 南部町	12,000	-	-	9,100	-	-	10,000	-	-
390 伯耆町	12,000	-	-	9,500	-	-	10,000	-	-
401 日南町	5,500	-	-	5,000	-	-	5,200	-	-
402 日野町	3,700	-	-	3,900	-	-	3,800	-	-
403 江府町	3,400	-	-	3,000	-	-	3,200	-	-
合計	589,000	約 80	0.0%	578,000	約 40	0.0%	582,000	約 50	0.0%

*： 数人 -： 被害なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

(4) 前回 H17 年公表被害想定結果との比較

表 5.3-21 に今回調査の人的被害の予測結果を、表 5.3-22 に前回調査（H17.3）の結果を示した。オーダー的には前回の結果と整合している。

表 5.3-21 今回調査の人的被害検討結果一覧表

震源断層	季節・時間	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		津波		火災		ブロック塀他		合計		死者率	負傷者率
			死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者		
			(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)													
倉吉南方の推定断層	冬深夜	589,000	約 280	約 10	約 1,600	約 300	約 20	約 30			約 50	約 50	*	*	約 350	約 1,600	0.1%	0.3%
	夏12時	578,000	約 100	約 10	約 1,000	約 220	約 10	約 10			約 20	約 20	*	*	約 130	約 1,100	0.0%	0.2%
	冬18時	582,000	約 210	約 10	約 1,200	約 220	約 20	約 20			約 40	約 40	*	約 10	約 260	約 1,200	0.0%	0.2%
鳥取県西部地震断層	冬深夜	589,000	約 70	約 10	約 790	約 190	約 20	約 20			-	-	*	*	約 90	約 810	0.0%	0.1%
	夏12時	578,000	約 30	*	約 440	約 140	約 10	約 10			*	*	*	*	約 30	約 450	0.0%	0.1%
	冬18時	582,000	約 50	*	約 550	約 140	約 10	約 20			約 140	約 130	*	約 10	約 200	約 710	0.0%	0.1%
雨滝一釜戸断層	冬深夜	589,000	約 40	*	約 450	約 130	約 20	約 20			-	-	*	*	約 50	約 470	0.0%	0.1%
	夏12時	578,000	約 10	*	約 240	約 100	約 10	約 10			*	*	*	*	約 20	約 250	0.0%	0.0%
	冬18時	582,000	約 30	*	約 310	約 100	約 10	約 10			*	*	*	約 10	約 40	約 330	0.0%	0.1%
鹿野・吉岡断層	冬深夜	589,000	約 530	約 30	約 3,200	約 610	約 30	約 40			約 230	約 220	*	*	約 790	約 3,500	0.1%	0.6%
	夏12時	578,000	約 210	約 20	約 1,900	約 430	約 10	約 20			約 100	約 100	*	約 10	約 330	約 2,000	0.1%	0.3%
	冬18時	582,000	約 400	約 20	約 2,300	約 460	約 20	約 30			約 200	約 200	*	約 20	約 630	約 2,500	0.1%	0.4%
宍道(鹿島)断層 (22km)	冬深夜	589,000	*	*	約 50	約 50	*	*			-	-	*	*	*	約 50	0.0%	0.0%
	夏12時	578,000	*	*	約 40	約 40	*	*			-	-	*	*	*	約 40	0.0%	0.0%
	冬18時	582,000	*	*	約 40	約 40	*	*			-	-	*	*	*	約 40	0.0%	0.0%
宍道(鹿島)断層 (39km)	冬深夜	589,000	約 30	*	約 430	約 140	*	*			-	-	*	*	約 30	約 430	0.0%	0.1%
	夏12時	578,000	約 10	*	約 260	約 110	*	*			-	-	*	*	約 10	約 260	0.0%	0.0%
	冬18時	582,000	約 20	*	約 300	約 100	*	*			*	*	*	約 10	約 20	約 310	0.0%	0.1%
F55断層 (津波:大すべり右側)	冬深夜	589,000	約 40	約 10	約 690	約 270	約 10	約 20	約 20	約 50	-	-	*	*	約 70	約 760	0.0%	0.1%
	夏12時	578,000	約 10	*	約 440	約 210	約 10	約 10	約 10	約 70	-	-	*	*	約 30	約 520	0.0%	0.1%
	冬18時	582,000	約 30	*	約 500	約 200	約 10	約 10	約 10	約 60	*	*	*	約 10	約 50	約 590	0.0%	0.1%
F55断層 (津波:大すべり左側)	冬深夜	589,000	約 40	約 10	約 690	約 270	約 10	約 20	約 10	約 180	-	-	*	*	約 60	約 890	0.0%	0.2%
	夏12時	578,000	約 10	*	約 440	約 210	約 10	約 10	約 50	約 260	-	-	*	*	約 70	約 710	0.0%	0.1%
	冬18時	582,000	約 30	*	約 500	約 200	約 10	約 10	約 40	約 220	*	*	*	約 10	約 70	約 750	0.0%	0.1%
F55断層 (津波:大すべり中央)	冬深夜	589,000	約 40	約 10	約 690	約 270	約 10	約 20	約 20	約 100	-	-	*	*	約 70	約 810	0.0%	0.1%
	夏12時	578,000	約 10	*	約 440	約 210	約 10	約 10	約 30	約 160	-	-	*	*	約 50	約 610	0.0%	0.1%
	冬18時	582,000	約 30	*	約 500	約 200	約 10	約 10	約 30	約 130	*	*	*	約 10	約 60	約 660	0.0%	0.1%
佐渡島北方冲断層	冬深夜	589,000							約 60	約 200					約 60	約 200	0.0%	0.0%
	夏12時	578,000							約 60	約 300					約 60	約 300	0.0%	0.1%
	冬18時	582,000							約 50	約 260					約 50	約 260	0.0%	0.0%

表 5.3-22 前回調査（H17.3）の人的被害結果一覧表

震源断層	季節・時間	滞留人口	建物倒壊				急傾斜地崩壊		火災(H22.3結果)	
			死者		負傷者		死者	負傷者	死者	負傷者
			(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)		(うち屋内 収容物 移動・転倒 他)					
倉吉南方の推定断層	夏12時	613,772	38	-	1,223	-	5	27	10	88
鳥取県西部地震断層	夏12時	613,772	30	-	901	-	8	44	13	89
鹿野・吉岡断層	夏12時	613,772	154	-	1,735	-	10	57	491	563

5.3.2 避難者の予測

(1) 避難者想定手法

避難者数は、内閣府（2013）による手法に準拠して想定する。

津波浸水域と津波浸水の影響を受けない地域を区分し、全壊・全焼・半壊棟数、断水人口等を基に発災日から当日・1日後、1週間後、1ヶ月後の避難者数を算出する。

ここで、避難所避難者は避難所に行く人、避難所外避難者は、被災地外の親類・知人等を頼って帰省・疎開する人、いわゆる疎開者とした。

また、避難所における要配慮者および車中泊避難者についても想定する。

① 津波浸水の影響を受けない地域の避難者数

【全避難者数】

$$\text{全避難者数} = (\text{全壊} \cdot \text{全焼棟数} + 0.13 \times \text{半壊棟数}) \times 1 \text{棟当たりの平均人員} \\ + \text{断水人口}^{\ast 1} \times \text{断水時生活困窮度}^{\ast 2}$$

※1：断水人口は、自宅建物被害を原因とする避難者を除く断水世帯人員を示す。

※2：ライフライン停止時生活困窮度とは、自宅建物は大きな損傷をしていないが、ライフライン停止が継続されることにより自宅で生活し続けることが困難となる度合を意味する。

断水時生活困窮度：(当日・1日後) 0.0 ⇒ (1週間後) 0.25 ⇒ (1ヶ月後) 0.90

【避難所避難者と避難所外避難者】

阪神・淡路大震災の実績を考慮して、発災当日・1日後、1週間後、1か月後の避難所避難者と避難所外避難者の割合を以下のように想定した。

避難所避難者：避難所外避難者

(当日・1日後) 60：40 ⇒ (1週間後) 50：50 ⇒ (1ヶ月後) 30：70

② 津波浸水域の避難者数

a) 地震発生直後（3日間）における避難者数

【全避難者数】

- ・全壊・全焼・半壊建物については全員が避難する。※半壊建物も、屋内への漂流物等により、自宅では生活不可。
- ・一部損壊以下の被害建物（床下浸水を含む）については、津波警報に伴う避難指示・勧告により全員が避難する。

【避難所避難者と避難所外避難者・疎開者等】

- ・東日本大震災における浸水範囲の全人口は約 60 万人（総務省統計局の集計より）である。
- ・内閣府の集計より、東日本大震災における最大の避難所避難者数は約 47 万人（3月14日）である。沿岸部の避難所避難者数は約 40 万人であることから、

$$\text{避難所避難者：避難所外避難者} = 40 : (60 - 40) = 2 : 1$$

$$\text{避難所避難者数(発災当日～発災2日後)} = \text{津波浸水域の居住人口} \times 2/3$$

b) 地震発生直後 4 日目以降の避難者数

【全避難者数】

全避難者数=(全壊・全焼棟数+0.13×半壊棟数)×1 棟当たりの平均人員
+断水人口×断水時生活困窮度

断水時生活困窮度：(1 週間後)0.25⇒(1 ヶ月後)0.90

【避難所避難者と避難所外避難者】

阪神・淡路大震災の実績を考慮して、1 週間後、1 か月後の避難所避難者と避難所外避難者の割合を以下のように想定した。

避難所避難者：避難所外避難者

(1 週間後)90：10 ⇒ (1 ヶ月後)30：70

③ 避難所における要配慮者避難者数

要配慮者の避難予測は、内閣府（2013）による手法に準拠して実施することとし、避難所避難者数の内訳として、市町村別の要配慮者の人口比率より、避難所に避難する要配慮者数を算出する。

ここで要配慮者とは、避難行動要支援者及び避難時に配慮が必要な外国人とし、さらに、外国人観光客を考慮した場合も算出する。

ここで、外国人観光客については、人口比率とはせずに、3 市町で整理した 1 日当りの人数を、想定地震毎に被害状況から対象とする市町を想定し、加えることとした。

想定地震毎の対象市町は、雨滝一釜戸断層、鹿野・吉岡断層は鳥取市、倉吉南方の推定断層は三朝町、鳥取県西部地震断層、宍道（鹿島）断層（22km）、宍道（鹿島）断層（39km）は米子市とし、F55 断層は 3 市町全てとした。

なお、要配慮者避難者数の予測は、避難所避難者数が最大となる被災 1 週間後の冬 18 時を対象とした。

④ 車中泊避難者数

車中泊の避難予測は、本調査で別途実施した鳥取県民を対象としたアンケート調査の結果を基に想定した。

アンケート調査では、災害時の車中避難意向を問うており、その結果では「避難所へ避難するよりも車中泊を選ぶと思う」と回答した割合が 38.7%であった。

この結果を踏まえて、今回は、避難所避難者のうち 38.7%が車中泊を行うと想定した。

なお、車中泊避難者数の予測は、避難所避難者数が最大となる被災 1 週間後の冬 18 時を対象とした。

(2) 避難者予測結果

各地震の避難者予測結果を以下の表に示す。

- ・表 5.3-23 避難者数：断層毎の集計
- ・表 5.3-24(1) 市町村別の避難者数：倉吉南方の推定断層
- ・表 5.3-24(2) 市町村別の避難者数：鳥取県西部地震断層
- ・表 5.3-24(3) 市町村別の避難者数：雨滝一釜戸断層
- ・表 5.3-24(4) 市町村別の避難者数：鹿野・吉岡断層
- ・表 5.3-24(5) 市町村別の避難者数：宍道（鹿島）断層（22km）
- ・表 5.3-24(6) 市町村別の避難者数：宍道（鹿島）断層（39km）
- ・表 5.3-24(7) 市町村別の避難者数：F55 断層（津波：大すべり右側）
- ・表 5.3-24(8) 市町村別の避難者数：F55 断層（津波：大すべり左側）
- ・表 5.3-24(9) 市町村別の避難者数：F55 断層（津波：大すべり中央）
- ・表 5.3-24(10) 市町村別の避難者数：佐渡島北方沖断層
- ・表 5.3-25 要配慮者の避難者数：断層毎の集計：被災 1 週間後
- ・表 5.3-26(1) 市町村別の要配慮者避難者数：倉吉南方の推定断層：被災 1 週間後
：冬 18 時
- ・表 5.3-26(2) 市町村別の要配慮者避難者数：鳥取県西部地震断層：被災 1 週間後
：冬 18 時
- ・表 5.3-26(3) 市町村別の要配慮者避難者数：雨滝一釜戸断層：被災 1 週間後
：冬 18 時
- ・表 5.3-26(4) 市町村別の要配慮者避難者数：鹿野・吉岡断層：被災 1 週間後
：冬 18 時
- ・表 5.3-26(5) 市町村別の要配慮者避難者数：宍道（鹿島）断層（22km）：被災 1 週間後
：冬 18 時
- ・表 5.3-26(6) 市町村別の要配慮者避難者数：宍道（鹿島）断層（39km）：被災 1 週間後
：冬 18 時
- ・表 5.3-26(7) 市町村別の要配慮者避難者数：F55 断層（津波：大すべり右側）：被災 1 週間後
：冬 18 時
- ・表 5.3-26(8) 市町村別の要配慮者避難者数：F55 断層（津波：大すべり左側）：被災 1 週間後
：冬 18 時
- ・表 5.3-26(9) 市町村別の要配慮者避難者数：F55 断層（津波：大すべり中央）：被災 1 週間後
：冬 18 時
- ・表 5.3-26(10) 市町村別の要配慮者避難者数：佐渡島北方沖断層：被災 1 週間後
- ・表 5.3-27 車中泊避難者数：断層毎の集計：被災 1 週間後
- ・表 5.3-28(1) 市町村別の車中泊避難者数：倉吉南方の推定断層：被災 1 週間後
：冬 18 時
- ・表 5.3-28(2) 市町村別の車中泊避難者数：鳥取県西部地震断層：被災 1 週間後
：冬 18 時
- ・表 5.3-28(3) 市町村別の車中泊避難者数：雨滝一釜戸断層：被災 1 週間後：冬 18 時
- ・表 5.3-28(4) 市町村別の車中泊避難者数：鹿野・吉岡断層：被災 1 週間後：冬 18 時
- ・表 5.3-28(5) 市町村別の車中泊避難者数：宍道（鹿島）断層（22km）：被災 1 週間後
：冬 18 時

- ・表 5.3-28(6) 市町村別の車中泊避難者数：宍道（鹿島）断層（39km）：被災1週間後：冬18時
- ・表 5.3-28(7) 市町村別の車中泊避難者数：F55断層（津波：大すべり右側）：被災1週間後：冬18時
- ・表 5.3-28(8) 市町村別の車中泊避難者数：F55断層（津波：大すべり左側）：被災1週間後：冬18時
- ・表 5.3-28(9) 市町村別の車中泊避難者数：F55断層（津波：大すべり中央）：被災1週間後：冬18時
- ・表 5.3-28(10) 市町村別の車中泊避難者数：佐渡島北方沖断層：被災1週間後

表 5.3-23 避難者数：断層毎の集計

(人、%)

震源断層	季節・時間	夜間人口	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後			避難者率		
			避難者数 (うち断水による避難者数)	避難所	避難所外	避難者数 (うち断水による避難者数)	避難所	避難所外	避難者数 (うち断水による避難者数)	避難所	避難所外	被災1日後	被災1週間後	被災1ヶ月後
倉吉南方の推定断層	冬深夜	574,000	約 14,000 (-)	約 8,400	約 5,600	約 22,000 (約 8,100)	約 11,000	約 11,000	約 20,000 (約 6,200)	約 6,000	約 14,000	2.4	3.8	3.5
	夏12時		約 13,000 (-)	約 7,500	約 5,000	約 21,000 (約 8,200)	約 10,000	約 10,000	約 19,000 (約 6,300)	約 5,700	約 13,000	2.2	3.6	3.3
	冬18時		約 14,000 (-)	約 8,500	約 5,700	約 22,000 (約 8,000)	約 11,000	約 11,000	約 20,000 (約 6,200)	約 6,100	約 14,000	2.5	3.9	3.5
鳥取県西部地震断層	冬深夜	574,000	約 17,000 (-)	約 10,000	約 6,700	約 25,000 (約 7,700)	約 12,000	約 12,000	約 20,000 (約 3,300)	約 6,100	約 14,000	2.9	4.3	3.5
	夏12時		約 16,000 (-)	約 9,800	約 6,500	約 24,000 (約 7,700)	約 12,000	約 12,000	約 20,000 (約 3,400)	約 5,900	約 14,000	2.9	4.2	3.4
	冬18時		約 28,000 (-)	約 17,000	約 11,000	約 35,000 (約 7,300)	約 17,000	約 17,000	約 31,000 (約 3,200)	約 9,200	約 21,000	4.8	6.1	5.3
雨滝-釜戸断層	冬深夜	574,000	約 4,900 (-)	約 3,000	約 2,000	約 9,800 (約 4,900)	約 4,900	約 4,900	約 6,800 (約 1,900)	約 2,000	約 4,800	0.9	1.7	1.2
	夏12時		約 4,700 (-)	約 2,800	約 1,900	約 9,600 (約 4,900)	約 4,800	約 4,800	約 6,600 (約 1,900)	約 2,000	約 4,600	0.8	1.7	1.2
	冬18時		約 4,900 (-)	約 3,000	約 2,000	約 9,800 (約 4,900)	約 4,900	約 4,900	約 6,800 (約 1,900)	約 2,000	約 4,800	0.9	1.7	1.2
鹿野・吉岡断層	冬深夜	574,000	約 36,000 (-)	約 22,000	約 14,000	約 54,000 (約 18,000)	約 27,000	約 27,000	約 52,000 (約 15,000)	約 15,000	約 36,000	6.3	9.4	9.0
	夏12時		約 34,000 (-)	約 21,000	約 14,000	約 53,000 (約 18,000)	約 26,000	約 26,000	約 50,000 (約 16,000)	約 15,000	約 35,000	6.0	9.2	8.7
	冬18時		約 40,000 (-)	約 24,000	約 16,000	約 57,000 (約 18,000)	約 29,000	約 29,000	約 55,000 (約 15,000)	約 16,000	約 38,000	6.9	10.0	9.5
宍道(鹿島)断層 (22km)	冬深夜	574,000	約 4,400 (-)	約 2,600	約 1,800	約 4,600 (約 240)	約 2,300	約 2,300	約 4,400 (約 10)	約 1,300	約 3,100	0.8	0.8	0.8
	夏12時		約 4,400 (-)	約 2,600	約 1,800	約 4,600 (約 240)	約 2,300	約 2,300	約 4,400 (約 10)	約 1,300	約 3,100	0.8	0.8	0.8
	冬18時		約 4,400 (-)	約 2,600	約 1,800	約 4,600 (約 240)	約 2,300	約 2,300	約 4,400 (約 10)	約 1,300	約 3,100	0.8	0.8	0.8
宍道(鹿島)断層 (39km)	冬深夜	574,000	約 14,000 (-)	約 8,600	約 5,700	約 17,000 (約 2,500)	約 8,400	約 8,400	約 15,000 (約 1,100)	約 4,600	約 11,000	2.5	2.9	2.7
	夏12時		約 14,000 (-)	約 8,500	約 5,700	約 17,000 (約 2,500)	約 8,300	約 8,300	約 15,000 (約 1,100)	約 4,600	約 11,000	2.5	2.9	2.7
	冬18時		約 14,000 (-)	約 8,600	約 5,700	約 17,000 (約 2,500)	約 8,400	約 8,400	約 15,000 (約 1,100)	約 4,600	約 11,000	2.5	2.9	2.7
F55断層 (津波：大すべり右側)	冬深夜	574,000	約 19,000 (-)	約 11,000	約 7,400	約 27,000 (約 9,100)	約 13,000	約 13,000	約 22,000 (約 4,100)	約 6,600	約 15,000	3.2	4.7	3.8
	夏12時		約 18,000 (-)	約 11,000	約 7,300	約 27,000 (約 9,100)	約 13,000	約 13,000	約 22,000 (約 4,100)	約 6,500	約 15,000	3.2	4.6	3.8
	冬18時		約 19,000 (-)	約 11,000	約 7,400	約 27,000 (約 9,100)	約 13,000	約 13,000	約 22,000 (約 4,100)	約 6,600	約 15,000	3.2	4.7	3.8
F55断層 (津波：大すべり左側)	冬深夜	574,000	約 19,000 (-)	約 12,000	約 7,600	約 27,000 (約 9,100)	約 14,000	約 13,000	約 22,000 (約 4,100)	約 6,600	約 15,000	3.4	4.7	3.8
	夏12時		約 19,000 (-)	約 12,000	約 7,600	約 27,000 (約 9,100)	約 13,000	約 13,000	約 22,000 (約 4,100)	約 6,500	約 15,000	3.3	4.7	3.8
	冬18時		約 19,000 (-)	約 12,000	約 7,700	約 27,000 (約 9,100)	約 14,000	約 13,000	約 22,000 (約 4,100)	約 6,600	約 15,000	3.4	4.7	3.8
F55断層 (津波：大すべり中央)	冬深夜	574,000	約 19,000 (-)	約 11,000	約 7,500	約 27,000 (約 9,100)	約 13,000	約 13,000	約 22,000 (約 4,100)	約 6,600	約 15,000	3.3	4.7	3.8
	夏12時		約 19,000 (-)	約 11,000	約 7,400	約 27,000 (約 9,100)	約 13,000	約 13,000	約 22,000 (約 4,100)	約 6,500	約 15,000	3.3	4.6	3.8
	冬18時		約 19,000 (-)	約 11,000	約 7,500	約 27,000 (約 9,100)	約 13,000	約 13,000	約 22,000 (約 4,100)	約 6,600	約 15,000	3.3	4.7	3.8
佐渡島北方沖断層	冬深夜	574,000	約 1,800 (-)	約 1,200	約 610	約 300 (*)	約 270	約 30	約 300 (*)	約 90	約 210	0.3	0.1	0.1
	夏12時													
	冬18時													

*： 数人 -： 避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 5.3-24(1) 市町村別の避難者数：倉吉南方の推定断層：冬 18 時 (人、%)

市町村	夜間人口	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後			避難者率		
		避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	被災1日後	被災1週間後	被災1ヶ月後
201 鳥取市	196,000	約 470	約 280	約 190	約 800	約 400	約 400	約 510	約 150	約 360	0.2	0.4	0.3
202 米子市	148,000	約 350	約 210	約 140	約 350	約 170	約 170	約 350	約 100	約 240	0.2	0.2	0.2
203 倉吉市	49,000	約 10,000	約 6,000	約 4,000	約 15,000	約 7,500	約 7,500	約 14,000	約 4,300	約 10,000	20.6	30.7	29.6
204 境港市	35,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
302 岩美町	12,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
325 若桜町	3,400	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	5,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	18,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	6,500	約 500	約 300	約 200	約 1,000	約 500	約 500	約 870	約 260	約 610	7.7	15.5	13.5
370 湯梨浜町	17,000	約 1,700	約 1,000	約 680	約 2,900	約 1,400	約 1,400	約 2,500	約 760	約 1,800	10.0	17.1	15.0
371 琴浦町	17,000	約 160	約 100	約 60	約 330	約 160	約 160	約 210	約 60	約 150	1.0	1.9	1.2
372 北栄町	15,000	約 920	約 550	約 370	約 1,800	約 910	約 910	約 1,400	約 410	約 960	6.1	12.0	9.0
384 日吉津村	3,300	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	16,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
389 南部町	11,000	約 40	約 30	約 20	約 40	約 20	約 20	約 40	約 10	約 30	0.4	0.4	0.4
390 伯耆町	11,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
401 日南町	4,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	2,900	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,200	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
合計	574,000	約 14,000	約 8,500	約 5,700	約 22,000	約 11,000	約 11,000	約 20,000	約 6,100	約 14,000	2.5	3.9	3.5

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-24(2) 市町村別の避難者数：鳥取県西部地震断層：冬 18 時 (人、%)

市町村	夜間人口	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後			避難者率		
		避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	被災1日後	被災1週間後	被災1ヶ月後
201 鳥取市	196,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
202 米子市	148,000	約 23,000	約 14,000	約 9,000	約 27,000	約 13,000	約 13,000	約 24,000	約 7,300	約 17,000	15.2	18.1	16.3
203 倉吉市	49,000	約 90	約 50	約 40	約 110	約 50	約 50	約 90	約 30	約 60	0.2	0.2	0.2
204 境港市	35,000	約 2,800	約 1,700	約 1,100	約 3,700	約 1,900	約 1,900	約 3,100	約 930	約 2,200	8.0	10.5	8.8
302 岩美町	12,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
325 若桜町	3,400	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	5,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	18,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	6,500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	17,000	約 40	約 20	約 10	約 40	約 20	約 20	約 40	約 10	約 30	0.2	0.2	0.2
371 琴浦町	17,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
372 北栄町	15,000	約 70	約 40	約 30	約 80	約 40	約 40	約 70	約 20	約 50	0.5	0.5	0.5
384 日吉津村	3,300	約 120	約 70	約 50	約 190	約 100	約 100	約 130	約 40	約 90	3.6	5.8	4.0
386 大山町	16,000	約 10	約 10	約 10	約 50	約 20	約 20	約 10	*	約 10	0.1	0.3	0.1
389 南部町	11,000	約 1,400	約 820	約 550	約 2,600	約 1,300	約 1,300	約 2,300	約 680	約 1,600	12.2	23.0	20.2
390 伯耆町	11,000	約 150	約 90	約 60	約 540	約 270	約 270	約 270	約 80	約 190	1.4	4.9	2.5
401 日南町	4,100	約 60	約 40	約 20	約 120	約 60	約 60	約 70	約 20	約 50	1.5	2.9	1.7
402 日野町	2,900	約 190	約 120	約 80	約 410	約 200	約 200	約 310	約 90	約 220	6.5	13.9	10.6
403 江府町	3,200	約 50	約 30	約 20	約 140	約 70	約 70	約 70	約 20	約 50	1.5	4.3	2.3
合計	574,000	約 28,000	約 17,000	約 11,000	約 35,000	約 17,000	約 17,000	約 31,000	約 9,200	約 21,000	4.8	6.1	5.3

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-24(3) 市町村別の避難者数：雨滝－釜戸断層：冬 18 時 (人、%)

市町村	夜間人口	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後			避難者率		
		避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	被災1日後	被災1週間後	被災1ヶ月後
201 鳥取市	196,000	約 4,000	約 2,400	約 1,600	約 8,400	約 4,200	約 4,200	約 5,700	約 1,700	約 4,000	2.0	4.3	2.9
202 米子市	148,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
203 倉吉市	49,000	約 70	約 40	約 30	約 70	約 30	約 30	約 70	約 20	約 50	0.1	0.1	0.1
204 境港市	35,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
302 岩美町	12,000	約 760	約 460	約 300	約 1,200	約 580	約 580	約 940	約 280	約 660	6.3	9.6	7.8
325 若桜町	3,400	約 10	約 10	約 10	約 30	約 10	約 10	約 20	約 10	約 10	0.4	0.9	0.5
328 智頭町	5,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	18,000	約 20	約 10	約 10	約 60	約 30	約 30	約 20	約 10	約 10	0.1	0.3	0.1
364 三朝町	6,500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	17,000	約 50	約 30	約 20	約 50	約 20	約 20	約 50	約 10	約 30	0.3	0.3	0.3
371 琴浦町	17,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
372 北栄町	15,000	約 40	約 20	約 10	約 40	約 20	約 20	約 40	約 10	約 30	0.2	0.2	0.2
384 日吉津村	3,300	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	16,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
389 南部町	11,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
390 伯耆町	11,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
401 日南町	4,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	2,900	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	574,000	約 4,900	約 3,000	約 2,000	約 9,800	約 4,900	約 4,900	約 6,800	約 2,000	約 4,800	0.9	1.7	1.2

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：10の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-24(4) 市町村別の避難者数：鹿野・吉岡断層：冬 18 時 (人、%)

市町村	夜間人口	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後			避難者率		
		避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	被災1日後	被災1週間後	被災1ヶ月後
201 鳥取市	196,000	約 38,000	約 23,000	約 15,000	約 55,000	約 28,000	約 28,000	約 53,000	約 16,000	約 37,000	19.6	28.2	27.2
202 米子市	148,000	約 10	約 10	約 10	約 10	約 10	約 10	約 10	*	約 10	0.0	0.0	0.0
203 倉吉市	49,000	約 470	約 280	約 190	約 650	約 320	約 320	約 480	約 140	約 330	1.0	1.3	1.0
204 境港市	35,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
302 岩美町	12,000	約 200	約 120	約 80	約 290	約 150	約 150	約 220	約 70	約 150	1.7	2.4	1.8
325 若桜町	3,400	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
328 智頭町	5,100	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
329 八頭町	18,000	約 30	約 20	約 10	約 180	約 90	約 90	約 40	約 10	約 30	0.2	1.0	0.2
364 三朝町	6,500	約 10	*	*	約 10	約 10	約 10	約 10	*	約 10	0.1	0.2	0.1
370 湯梨浜町	17,000	約 520	約 310	約 210	約 630	約 320	約 320	約 540	約 160	約 380	3.1	3.8	3.2
371 琴浦町	17,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
372 北栄町	15,000	約 160	約 100	約 70	約 190	約 100	約 100	約 160	約 50	約 120	1.1	1.3	1.1
384 日吉津村	3,300	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	16,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
389 南部町	11,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
390 伯耆町	11,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
401 日南町	4,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	2,900	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	574,000	約 40,000	約 24,000	約 16,000	約 57,000	約 29,000	約 29,000	約 55,000	約 16,000	約 38,000	6.9	10.0	9.5

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：10の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-24(5) 市町村別の避難者数：宍道（鹿島）断層（22km）：冬 18 時 (人、%)

市町村	夜間人口	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後			避難者率		
		避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	被災1日後	被災1週間後	被災1ヶ月後
201 鳥取市	196,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
202 米子市	148,000	約 2,800	約 1,700	約 1,100	約 2,800	約 1,400	約 1,400	約 2,800	約 830	約 1,900	1.9	1.9	1.9
203 倉吉市	49,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
204 境港市	35,000	約 1,600	約 940	約 620	約 1,800	約 890	約 890	約 1,600	約 470	約 1,100	4.4	5.0	4.5
302 岩美町	12,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
325 若桜町	3,400	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	5,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	18,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	6,500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	17,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
371 琴浦町	17,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
372 北栄町	15,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
384 日吉津村	3,300	約 10	約 10	*	約 10	約 10	約 10	約 10	*	約 10	0.3	0.3	0.3
386 大山町	16,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
389 南部町	11,000	約 50	約 30	約 20	約 50	約 20	約 20	約 50	約 10	約 30	0.4	0.4	0.4
390 伯耆町	11,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
401 日南町	4,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	2,900	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	574,000	約 4,400	約 2,600	約 1,800	約 4,600	約 2,300	約 2,300	約 4,400	約 1,300	約 3,100	0.8	0.8	0.8

*： 数人 -： 避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 5.3-24(6) 市町村別の避難者数：宍道（鹿島）断層（39km）：冬 18 時 (人、%)

市町村	夜間人口	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後			避難者率		
		避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	被災1日後	被災1週間後	被災1ヶ月後
201 鳥取市	196,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
202 米子市	148,000	約 7,700	約 4,600	約 3,100	約 8,100	約 4,000	約 4,000	約 7,800	約 2,300	約 5,400	5.2	5.4	5.2
203 倉吉市	49,000	約 10	*	*	約 10	*	*	約 10	*	*	0.0	0.0	0.0
204 境港市	35,000	約 6,500	約 3,900	約 2,600	約 8,600	約 4,300	約 4,300	約 7,600	約 2,300	約 5,300	18.3	24.4	21.5
302 岩美町	12,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
325 若桜町	3,400	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	5,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	18,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	6,500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	17,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
371 琴浦町	17,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
372 北栄町	15,000	約 10	*	*	約 10	*	*	約 10	*	*	0.0	0.0	0.0
384 日吉津村	3,300	約 70	約 40	約 30	約 70	約 30	約 30	約 70	約 20	約 50	2.1	2.1	2.1
386 大山町	16,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
389 南部町	11,000	約 60	約 30	約 20	約 60	約 30	約 30	約 60	約 20	約 40	0.5	0.5	0.5
390 伯耆町	11,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
401 日南町	4,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	2,900	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	574,000	約 14,000	約 8,600	約 5,700	約 17,000	約 8,400	約 8,400	約 15,000	約 4,600	約 11,000	2.5	2.9	2.7

*： 数人 -： 避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 5.3-24(7) 市町村別の避難者数：F55 断層（津波：大すべり右側）：冬 18 時 (人、%)

市町村	夜間人口	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後			避難者率		
		避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	被災1日後	被災1週間後	被災1ヶ月後
201 鳥取市	196,000	約 1,900	約 1,200	約 760	約 3,900	約 2,000	約 2,000	約 3,700	約 1,100	約 2,600	1.0	2.0	1.9
202 米子市	148,000	約 9,800	約 5,900	約 3,900	約 12,000	約 6,200	約 6,200	約 10,000	約 3,100	約 7,200	6.6	8.3	7.0
203 倉吉市	49,000	約 780	約 470	約 310	約 1,500	約 760	約 760	約 980	約 290	約 690	1.6	3.1	2.0
204 境港市	35,000	約 3,500	約 2,100	約 1,300	約 3,600	約 1,800	約 1,800	約 3,100	約 940	約 2,200	9.8	10.2	8.9
302 岩美町	12,000	約 280	約 170	約 110	約 310	約 150	約 150	約 220	約 70	約 150	2.3	2.5	1.8
325 若桜町	3,400	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
328 智頭町	5,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	18,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
364 三朝町	6,500	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
370 湯梨浜町	17,000	約 610	約 370	約 240	約 800	約 400	約 400	約 620	約 190	約 430	3.6	4.8	3.7
371 琴浦町	17,000	約 360	約 210	約 140	約 1,200	約 610	約 610	約 720	約 220	約 500	2.1	7.2	4.3
372 北栄町	15,000	約 460	約 280	約 180	約 810	約 410	約 410	約 540	約 160	約 380	3.0	5.4	3.5
384 日吉津村	3,300	約 140	約 80	約 60	約 300	約 150	約 150	約 210	約 60	約 150	4.3	9.2	6.5
386 大山町	16,000	約 730	約 440	約 290	約 2,000	約 980	約 980	約 1,400	約 410	約 960	4.5	12.1	8.4
389 南部町	11,000	約 60	約 30	約 20	約 70	約 30	約 30	約 60	約 20	約 40	0.5	0.6	0.5
390 伯耆町	11,000	約 10	*	*	約 20	約 10	約 10	約 10	*	*	0.1	0.2	0.1
401 日南町	4,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	2,900	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,200	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
合計	574,000	約 19,000	約 11,000	約 7,400	約 27,000	約 13,000	約 13,000	約 22,000	約 6,600	約 15,000	3.2	4.7	3.8

*： 数人 -： 避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 5.3-24(8) 市町村別の避難者数：F55 断層（津波：大すべり左側）：冬 18 時 (人、%)

市町村	夜間人口	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後			避難者率		
		避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	被災1日後	被災1週間後	被災1ヶ月後
201 鳥取市	196,000	約 1,800	約 1,100	約 720	約 3,900	約 2,000	約 2,000	約 3,700	約 1,100	約 2,600	0.9	2.0	1.9
202 米子市	148,000	約 9,800	約 5,900	約 3,900	約 12,000	約 6,200	約 6,200	約 10,000	約 3,100	約 7,200	6.6	8.3	7.0
203 倉吉市	49,000	約 780	約 470	約 310	約 1,500	約 760	約 760	約 980	約 290	約 690	1.6	3.1	2.0
204 境港市	35,000	約 4,400	約 2,700	約 1,700	約 3,600	約 1,900	約 1,800	約 3,200	約 950	約 2,200	12.4	10.3	9.0
302 岩美町	12,000	約 350	約 220	約 130	約 310	約 160	約 150	約 220	約 70	約 160	2.9	2.6	1.8
325 若桜町	3,400	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
328 智頭町	5,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	18,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
364 三朝町	6,500	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
370 湯梨浜町	17,000	約 590	約 350	約 230	約 800	約 400	約 400	約 620	約 180	約 430	3.5	4.7	3.6
371 琴浦町	17,000	約 360	約 210	約 140	約 1,200	約 610	約 610	約 720	約 220	約 500	2.1	7.2	4.3
372 北栄町	15,000	約 460	約 280	約 180	約 810	約 410	約 410	約 540	約 160	約 380	3.0	5.4	3.5
384 日吉津村	3,300	約 140	約 80	約 60	約 300	約 150	約 150	約 210	約 60	約 150	4.3	9.2	6.5
386 大山町	16,000	約 730	約 440	約 290	約 2,000	約 980	約 980	約 1,400	約 410	約 960	4.5	12.1	8.4
389 南部町	11,000	約 60	約 30	約 20	約 70	約 30	約 30	約 60	約 20	約 40	0.5	0.6	0.5
390 伯耆町	11,000	約 10	*	*	約 20	約 10	約 10	約 10	*	*	0.1	0.2	0.1
401 日南町	4,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	2,900	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,200	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
合計	574,000	約 19,000	約 12,000	約 7,700	約 27,000	約 14,000	約 13,000	約 22,000	約 6,600	約 15,000	3.4	4.7	3.8

*： 数人 -： 避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満： 1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満： 10の位を四捨五入 ・10,000以上： 100の位を四捨五入

表 5.3-24(9) 市町村別の避難者数：F55 断層（津波：大すべり中央）：冬 18 時 (人、%)

市町村	夜間人口	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後			避難者率		
		避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	被災1日後	被災1週間後	被災1ヶ月後
201 鳥取市	196,000	約 1,800	約 1,100	約 730	約 3,900	約 2,000	約 2,000	約 3,700	約 1,100	約 2,600	0.9	2.0	1.9
202 米子市	148,000	約 9,800	約 5,900	約 3,900	約 12,000	約 6,200	約 6,200	約 10,000	約 3,100	約 7,200	6.6	8.3	7.0
203 倉吉市	49,000	約 780	約 470	約 310	約 1,500	約 760	約 760	約 980	約 290	約 690	1.6	3.1	2.0
204 境港市	35,000	約 3,800	約 2,300	約 1,500	約 3,600	約 1,800	約 1,800	約 3,100	約 940	約 2,200	10.8	10.2	8.9
302 岩美町	12,000	約 390	約 250	約 140	約 310	約 160	約 150	約 230	約 70	約 160	3.2	2.6	1.9
325 若桜町	3,400	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
328 智頭町	5,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	18,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
364 三朝町	6,500	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
370 湯梨浜町	17,000	約 640	約 390	約 250	約 810	約 410	約 400	約 620	約 190	約 430	3.8	4.8	3.7
371 琴浦町	17,000	約 360	約 210	約 140	約 1,200	約 610	約 610	約 720	約 220	約 500	2.1	7.2	4.3
372 北栄町	15,000	約 460	約 280	約 180	約 810	約 410	約 410	約 540	約 160	約 380	3.0	5.4	3.5
384 日吉津村	3,300	約 140	約 80	約 60	約 300	約 150	約 150	約 210	約 60	約 150	4.3	9.2	6.5
386 大山町	16,000	約 730	約 440	約 290	約 2,000	約 980	約 980	約 1,400	約 410	約 960	4.5	12.1	8.4
389 南部町	11,000	約 60	約 30	約 20	約 70	約 30	約 30	約 60	約 20	約 40	0.5	0.6	0.5
390 伯耆町	11,000	約 10	*	*	約 20	約 10	約 10	約 10	*	*	0.1	0.2	0.1
401 日南町	4,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	2,900	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,200	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
合計	574,000	約 19,000	約 11,000	約 7,500	約 27,000	約 13,000	約 13,000	約 22,000	約 6,600	約 15,000	3.3	4.7	3.8

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-24(10) 市町村別の避難者数：佐渡島北方沖断層：冬 18 時 (人、%)

市町村	夜間人口	被災1日後			被災1週間後			被災1ヶ月後			避難者率		
		避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	被災1日後	被災1週間後	被災1ヶ月後
201 鳥取市	196,000	約 190	約 130	約 60	約 40	約 40	*	約 40	約 10	約 30	0.1	0.0	0.0
202 米子市	148,000	約 10	約 10	*	約 10	約 10	*	約 10	*	*	0.0	0.0	0.0
203 倉吉市	49,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
204 境港市	35,000	約 1,500	約 970	約 480	約 250	約 220	約 20	約 250	約 70	約 170	4.1	0.7	0.7
302 岩美町	12,000	約 120	約 80	約 40	約 10	約 10	*	約 10	*	*	1.0	0.1	0.1
325 若桜町	3,400	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	5,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	18,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	6,500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	17,000	約 50	約 30	約 20	*	*	*	*	*	*	0.3	0.0	0.0
371 琴浦町	17,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
372 北栄町	15,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
384 日吉津村	3,300	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
386 大山町	16,000	*	*	*	*	*	*	*	*	*	0.0	0.0	0.0
389 南部町	11,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
390 伯耆町	11,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
401 日南町	4,100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
402 日野町	2,900	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
403 江府町	3,200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	574,000	約 1,800	約 1,200	約 610	約 300	約 270	約 30	約 300	約 90	約 210	0.3	0.1	0.1

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入

表 5.3-25 要配慮者の避難者数：断層毎の集計：被災1週間後：冬18時（人）

震源断層	避難所 避難者数	要配慮者避難者数			外国人 観光客	要配慮者 避難者数 合計
		避難行動 要支援者	避難時に配慮が 必要な外国人	計		
倉吉南方の推定断層	約 11,000	約 1,100	約 30	約 1,200	約 110	約 1,300
鳥取県西部地震断層	約 17,000	約 1,900	約 60	約 1,900	約 110	約 2,000
雨滝－釜戸断層	約 4,900	約 830	約 20	約 840	約 80	約 920
鹿野・吉岡断層	約 29,000	約 4,600	約 70	約 4,600	約 80	約 4,700
宍道(鹿島)断層 (22km)	約 2,300	約 190	約 10	約 200	約 110	約 310
宍道(鹿島)断層 (39km)	約 8,400	約 600	約 50	約 650	約 110	約 760
F55断層 (津波：大すべり右側)	約 13,000	約 1,400	約 50	約 1,500	約 290	約 1,700
F55断層 (津波：大すべり左側)	約 14,000	約 1,400	約 50	約 1,500	約 290	約 1,800
F55断層 (津波：大すべり中央)	約 13,000	約 1,400	約 50	約 1,500	約 290	約 1,800
佐渡島北方沖断層	約 270	約 10	*	約 20	-	約 20

*：数人

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入　・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入　・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-26(1) 市町村別の要配慮者避難者数：倉吉南方の推定断層：被災1週間後

市町村	避難所 避難者数	要配慮者避難者数			外国人 観光客	要配慮者 避難者数 合計
		避難行動 要支援者	避難時に配慮が 必要な外国人	計		
201 鳥取市	約 400	約 70	*	約 70	-	約 70
202 米子市	約 170	約 20	*	約 20	-	約 20
203 倉吉市	約 7,500	約 800	約 20	約 820	-	約 820
204 境港市	*	*	*	*	-	*
302 岩美町	*	*	*	*	-	*
325 若桜町	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	約 500	約 50	*	約 50	約 110	約 160
370 湯梨浜町	約 1,400	約 90	*	約 90	-	約 90
371 琴浦町	約 160	約 10	*	約 10	-	約 10
372 北栄町	約 910	約 90	*	約 100	-	約 100
384 日吉津村	-	-	-	-	-	-
386 大山町	*	*	*	*	-	*
389 南部町	約 20	*	*	*	-	*
390 伯耆町	*	*	*	*	-	*
401 日南町	-	-	-	-	-	-
402 日野町	-	-	-	-	-	-
403 江府町	*	*	*	*	-	*
合計	約 11,000	約 1,100	約 30	約 1,200	約 110	約 1,300

*：数人　-：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入　・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入　・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-26(2) 市町村別の要配慮者避難者数：鳥取県西部地震断層：被災1週間後

市町村	避難所 避難者数	要配慮者避難者数			外国人 観光客	要配慮者 避難者数 合計
		避難行動 要支援者	避難時に配慮が 必要な外国人	計		
201 鳥取市	*	*	*	*	-	*
202 米子市	約 13,000	約 1,600	約 40	約 1,600	約 110	約 1,700
203 倉吉市	約 50	約 10	*	約 10	-	約 10
204 境港市	約 1,900	約 50	約 10	約 60	-	約 60
302 岩美町	-	-	-	-	-	-
325 若桜町	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	約 20	*	*	*	-	*
371 琴浦町	*	*	*	*	-	*
372 北栄町	約 40	*	*	*	-	*
384 日吉津村	約 100	約 30	*	約 30	-	約 30
386 大山町	約 20	*	*	*	-	*
389 南部町	約 1,300	約 50	*	約 50	-	約 50
390 伯耆町	約 270	約 70	*	約 70	-	約 70
401 日南町	約 60	*	*	*	-	*
402 日野町	約 200	約 70	*	約 70	-	約 70
403 江府町	約 70	約 10	*	約 10	-	約 10
合計	約 17,000	約 1,900	約 60	約 1,900	約 110	約 2,000

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-26(3) 市町村別の要配慮者避難者数：雨滝一釜戸断層：被災1週間後：冬18時(人)

市町村	避難所 避難者数	要配慮者避難者数			外国人 観光客	要配慮者 避難者数 合計
		避難行動 要支援者	避難時に配慮が 必要な外国人	計		
201 鳥取市	約 4,200	約 680	約 10	約 690	約 80	約 770
202 米子市	*	*	*	*	-	*
203 倉吉市	約 30	*	*	*	-	*
204 境港市	-	-	-	-	-	-
302 岩美町	約 580	約 130	*	約 140	-	約 140
325 若桜町	約 10	*	*	*	-	*
328 智頭町	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	約 30	*	*	*	-	*
364 三朝町	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	約 20	*	*	*	-	*
371 琴浦町	-	-	-	-	-	-
372 北栄町	約 20	*	*	*	-	*
384 日吉津村	-	-	-	-	-	-
386 大山町	-	-	-	-	-	-
389 南部町	-	-	-	-	-	-
390 伯耆町	-	-	-	-	-	-
401 日南町	-	-	-	-	-	-
402 日野町	-	-	-	-	-	-
403 江府町	-	-	-	-	-	-
合計	約 4,900	約 830	約 20	約 840	約 80	約 920

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-26(4) 市町村別の要配慮者避難者数：鹿野・吉岡断層：被災1週間後：冬18時（人）

市町村	避難所 避難者数	要配慮者避難者数			外国人 観光客	要配慮者 避難者数 合計
		避難行動 要支援者	避難時に配慮が 必要な外国人	計		
201 鳥取市	約 28,000	約 4,500	約 70	約 4,500	約 80	約 4,600
202 米子市	約 10	*	*	*	-	*
203 倉吉市	約 320	約 30	*	約 40	-	約 40
204 境港市	*	*	*	*	-	*
302 岩美町	約 150	約 30	*	約 30	-	約 30
325 若桜町	*	*	*	*	-	*
328 智頭町	*	*	*	*	-	*
329 八頭町	約 90	*	*	*	-	*
364 三朝町	約 10	*	*	*	-	*
370 湯梨浜町	約 320	約 20	*	約 20	-	約 20
371 琴浦町	*	*	*	*	-	*
372 北栄町	約 100	約 10	*	約 10	-	約 10
384 日吉津村	-	-	-	-	-	-
386 大山町	*	*	*	*	-	*
389 南部町	-	-	-	-	-	-
390 伯耆町	-	-	-	-	-	-
401 日南町	-	-	-	-	-	-
402 日野町	-	-	-	-	-	-
403 江府町	-	-	-	-	-	-
合計	約 29,000	約 4,600	約 70	約 4,600	約 80	約 4,700

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-26(5) 市町村別の要配慮者避難者数：宍道（鹿島）断層（22km）：被災1週間後：冬18時（人）

市町村	避難所 避難者数	要配慮者避難者数			外国人 観光客	要配慮者 避難者数 合計
		避難行動 要支援者	避難時に配慮が 必要な外国人	計		
201 鳥取市	*	*	*	*	-	*
202 米子市	約 1,400	約 170	*	約 170	約 110	約 280
203 倉吉市	-	-	-	-	-	-
204 境港市	約 890	約 20	約 10	約 30	-	約 30
302 岩美町	-	-	-	-	-	-
325 若桜町	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	-	-	-	-	-	-
371 琴浦町	-	-	-	-	-	-
372 北栄町	-	-	-	-	-	-
384 日吉津村	約 10	*	*	*	-	*
386 大山町	*	*	*	*	-	*
389 南部町	約 20	*	*	*	-	*
390 伯耆町	-	-	-	-	-	-
401 日南町	-	-	-	-	-	-
402 日野町	-	-	-	-	-	-
403 江府町	-	-	-	-	-	-
合計	約 2,300	約 190	約 10	約 200	約 110	約 310

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-26(6) 市町村別の要配慮者避難者数：宍道（鹿島）断層（39km）：被災1週間後
：冬18時（人）

市町村	避難所 避難者数	要配慮者避難者数			外国人 観光客	要配慮者 避難者数 合計
		避難行動 要支援者	避難時に配慮が 必要な外国人	計		
201 鳥取市	*	*	*	*	-	*
202 米子市	約 4,000	約 480	約 10	約 490	約 110	約 600
203 倉吉市	*	*	*	*	-	*
204 境港市	約 4,300	約 110	約 30	約 140	-	約 140
302 岩美町	*	*	*	*	-	*
325 若桜町	-	-	-	-	-	-
328 智頭町	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	-	-	-	-	-	-
364 三朝町	-	-	-	-	-	-
370 湯梨浜町	*	*	*	*	-	*
371 琴浦町	*	*	*	*	-	*
372 北栄町	*	*	*	*	-	*
384 日吉津村	約 30	約 10	*	約 10	-	約 10
386 大山町	*	*	*	*	-	*
389 南部町	約 30	*	*	*	-	*
390 伯耆町	*	*	*	*	-	*
401 日南町	-	-	-	-	-	-
402 日野町	-	-	-	-	-	-
403 江府町	-	-	-	-	-	-
合計	約 8,400	約 600	約 50	約 650	約 110	約 760

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-26(7) 市町村別の要配慮者避難者数：F55断層（津波：大すべり右側）

市町村	避難所 避難者数	要配慮者避難者数			外国人 観光客	要配慮者 避難者数 合計
		避難行動 要支援者	避難時に配慮が 必要な外国人	計		
201 鳥取市	約 2,000	約 320	*	約 330	約 80	約 410
202 米子市	約 6,200	約 730	約 20	約 750	約 110	約 860
203 倉吉市	約 760	約 80	*	約 80	-	約 80
204 境港市	約 1,800	約 40	約 10	約 60	-	約 60
302 岩美町	約 150	約 30	*	約 40	-	約 40
325 若桜町	*	*	*	*	-	*
328 智頭町	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	*	*	*	*	-	*
364 三朝町	*	*	*	*	約 110	約 110
370 湯梨浜町	約 400	約 30	*	約 30	-	約 30
371 琴浦町	約 610	約 40	*	約 40	-	約 40
372 北栄町	約 410	約 40	*	約 40	-	約 40
384 日吉津村	約 150	約 40	*	約 40	-	約 40
386 大山町	約 980	約 40	*	約 40	-	約 40
389 南部町	約 30	*	*	*	-	*
390 伯耆町	約 10	*	*	*	-	*
401 日南町	-	-	-	-	-	-
402 日野町	-	-	-	-	-	-
403 江府町	*	*	*	*	-	*
合計	約 13,000	約 1,400	約 50	約 1,500	約 290	約 1,700

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

：被災1週間後
：冬18時（人）

表 5.3-26(8) 市町村別の要配慮者避難者数：F55 断層（津波：大すべり左側）

市町村	避難所 避難者数	要配慮者避難者数			外国人 観光客	要配慮者 避難者数 合計
		避難行動 要支援者	避難時に配慮が 必要な外国人	計		
201 鳥取市	約 2,000	約 320	*	約 320	約 80	約 400
202 米子市	約 6,200	約 730	約 20	約 750	約 110	約 860
203 倉吉市	約 760	約 80	*	約 80	-	約 80
204 境港市	約 1,900	約 50	約 10	約 60	-	約 60
302 岩美町	約 160	約 40	*	約 40	-	約 40
325 若桜町	*	*	*	*	-	*
328 智頭町	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	*	*	*	*	-	*
364 三朝町	*	*	*	*	約 110	約 110
370 湯梨浜町	約 400	約 20	*	約 30	-	約 30
371 琴浦町	約 610	約 40	*	約 40	-	約 40
372 北栄町	約 410	約 40	*	約 40	-	約 40
384 日吉津村	約 150	約 40	*	約 40	-	約 40
386 大山町	約 980	約 40	*	約 40	-	約 40
389 南部町	約 30	*	*	*	-	*
390 伯耆町	約 10	*	*	*	-	*
401 日南町	-	-	-	-	-	-
402 日野町	-	-	-	-	-	-
403 江府町	*	*	*	*	-	*
合計	約 14,000	約 1,400	約 50	約 1,500	約 290	約 1,800

：被災 1 週間後
：冬 18 時（人）

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-26(9) 市町村別の要配慮者避難者数：F55 断層（津波：大すべり中央）

市町村	避難所 避難者数	要配慮者避難者数			外国人 観光客	要配慮者 避難者数 合計
		避難行動 要支援者	避難時に配慮が 必要な外国人	計		
201 鳥取市	約 2,000	約 320	*	約 330	約 80	約 400
202 米子市	約 6,200	約 730	約 20	約 750	約 110	約 860
203 倉吉市	約 760	約 80	*	約 80	-	約 80
204 境港市	約 1,800	約 50	約 10	約 60	-	約 60
302 岩美町	約 160	約 40	*	約 40	-	約 40
325 若桜町	*	*	*	*	-	*
328 智頭町	-	-	-	-	-	-
329 八頭町	*	*	*	*	-	*
364 三朝町	*	*	*	*	約 110	約 110
370 湯梨浜町	約 410	約 30	*	約 30	-	約 30
371 琴浦町	約 610	約 40	*	約 40	-	約 40
372 北栄町	約 410	約 40	*	約 40	-	約 40
384 日吉津村	約 150	約 40	*	約 40	-	約 40
386 大山町	約 980	約 40	*	約 40	-	約 40
389 南部町	約 30	*	*	*	-	*
390 伯耆町	約 10	*	*	*	-	*
401 日南町	-	-	-	-	-	-
402 日野町	-	-	-	-	-	-
403 江府町	*	*	*	*	-	*
合計	約 13,000	約 1,400	約 50	約 1,500	約 290	約 1,800

：被災 1 週間後
：冬 18 時（人）

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-26(10) 市町村別の要配慮者避難者数：佐渡島北方沖断層：被災 1 週間後（人）

市町村	避難所 避難者数	要配慮者避難者数			外国人 観光客	要配慮者 避難者数 合計	
		避難行動 要支援者	避難時に配慮が 必要な外国人	計			
201	鳥取市	約 40	約 10	*	約 10	-	約 10
202	米子市	約 10	*	*	*	-	*
203	倉吉市	-	-	-	-	-	-
204	境港市	約 220	約 10	*	約 10	-	約 10
302	岩美町	約 10	*	*	*	-	*
325	若桜町	-	-	-	-	-	-
328	智頭町	-	-	-	-	-	-
329	八頭町	-	-	-	-	-	-
364	三朝町	-	-	-	-	-	-
370	湯梨浜町	*	*	*	*	-	*
371	琴浦町	-	-	-	-	-	-
372	北栄町	-	-	-	-	-	-
384	日吉津村	-	-	-	-	-	-
386	大山町	*	*	*	*	-	*
389	南部町	-	-	-	-	-	-
390	伯耆町	-	-	-	-	-	-
401	日南町	-	-	-	-	-	-
402	日野町	-	-	-	-	-	-
403	江府町	-	-	-	-	-	-
合計		約 270	約 10	*	約 20	-	約 20

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入　・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入　・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-27 車中泊避難者数：断層毎の集計：被災 1 週間後：冬 18 時（人）

震源断層	避難所 避難者数	車中泊 避難者
倉吉南方の推定断層	約 11,000	約 4,300
鳥取県西部地震断層	約 17,000	約 6,700
雨滝－釜戸断層	約 4,900	約 1,900
鹿野・吉岡断層	約 29,000	約 11,000
宍道(鹿島)断層 (22km)	約 2,300	約 890
宍道(鹿島)断層 (39km)	約 8,400	約 3,300
F55断層 (津波:大すべり右側)	約 13,000	約 5,200
F55断層 (津波:大すべり左側)	約 14,000	約 5,200
F55断層 (津波:大すべり中央)	約 13,000	約 5,200
佐渡島北方沖断層	約 270	約 110

*：数人

-：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入　・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入　・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-28(1) 市町村別の車中泊避難者数：倉吉南方の推定断層：被災 1 週間後
：冬 18 時（人）

市町村	避難所 避難者数	車中泊 避難者
201 鳥取市	約 400	約 160
202 米子市	約 170	約 70
203 倉吉市	約 7,500	約 2,900
204 境港市	*	*
302 岩美町	*	*
325 若桜町	-	-
328 智頭町	-	-
329 八頭町	-	-
364 三朝町	約 500	約 190
370 湯梨浜町	約 1,400	約 560
371 琴浦町	約 160	約 60
372 北栄町	約 910	約 350
384 日吉津村	-	-
386 大山町	*	*
389 南部町	約 20	約 10
390 伯耆町	*	*
401 日南町	-	-
402 日野町	-	-
403 江府町	*	*
合計	約 11,000	約 4,300

*：数人　-：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入　・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入　・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-28(2) 市町村別の車中泊避難者数：鳥取県西部地震断層：被災 1 週間後
：冬 18 時（人）

市町村	避難所 避難者数	車中泊 避難者
201 鳥取市	*	*
202 米子市	約 13,000	約 5,200
203 倉吉市	約 50	約 20
204 境港市	約 1,900	約 720
302 岩美町	-	-
325 若桜町	-	-
328 智頭町	-	-
329 八頭町	-	-
364 三朝町	-	-
370 湯梨浜町	約 20	約 10
371 琴浦町	*	*
372 北栄町	約 40	約 20
384 日吉津村	約 100	約 40
386 大山町	約 20	約 10
389 南部町	約 1,300	約 500
390 伯耆町	約 270	約 100
401 日南町	約 60	約 20
402 日野町	約 200	約 80
403 江府町	約 70	約 30
合計	約 17,000	約 6,700

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-28(3) 市町村別の車中泊避難者数：雨滝一釜戸断層：被災 1 週間後：冬 18 時（人）

市町村	避難所 避難者数	車中泊 避難者
201 鳥取市	約 4,200	約 1,600
202 米子市	*	*
203 倉吉市	約 30	約 10
204 境港市	-	-
302 岩美町	約 580	約 220
325 若桜町	約 10	約 10
328 智頭町	-	-
329 八頭町	約 30	約 10
364 三朝町	-	-
370 湯梨浜町	約 20	約 10
371 琴浦町	-	-
372 北栄町	約 20	約 10
384 日吉津村	-	-
386 大山町	-	-
389 南部町	-	-
390 伯耆町	-	-
401 日南町	-	-
402 日野町	-	-
403 江府町	-	-
合計	約 4,900	約 1,900

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-28(4) 市町村別の車中泊避難者数：鹿野・吉岡断層：被災1週間後：冬18時（人）

市町村	避難所 避難者数	車中泊 避難者
201 鳥取市	約 28,000	約 11,000
202 米子市	約 10	*
203 倉吉市	約 320	約 130
204 境港市	*	*
302 岩美町	約 150	約 60
325 若桜町	*	*
328 智頭町	*	*
329 八頭町	約 90	約 30
364 三朝町	約 10	*
370 湯梨浜町	約 320	約 120
371 琴浦町	*	*
372 北栄町	約 100	約 40
384 日吉津村	-	-
386 大山町	*	*
389 南部町	-	-
390 伯耆町	-	-
401 日南町	-	-
402 日野町	-	-
403 江府町	-	-
合計	約 29,000	約 11,000

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-28(5) 市町村別の車中泊避難者数：宍道（鹿島）断層（22km）：被災1週間後
：冬18時（人）

市町村	避難所 避難者数	車中泊 避難者
201 鳥取市	*	*
202 米子市	約 1,400	約 540
203 倉吉市	-	-
204 境港市	約 890	約 340
302 岩美町	-	-
325 若桜町	-	-
328 智頭町	-	-
329 八頭町	-	-
364 三朝町	-	-
370 湯梨浜町	-	-
371 琴浦町	-	-
372 北栄町	-	-
384 日吉津村	約 10	*
386 大山町	*	*
389 南部町	約 20	約 10
390 伯耆町	-	-
401 日南町	-	-
402 日野町	-	-
403 江府町	-	-
合計	約 2,300	約 890

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-28(6) 市町村別の車中泊避難者数：宍道（鹿島）断層（39km）：被災1週間後
：冬18時（人）

市町村		避難所 避難者数	車中泊 避難者
201	鳥取市	*	*
202	米子市	約 4,000	約 1,600
203	倉吉市	*	*
204	境港市	約 4,300	約 1,700
302	岩美町	*	*
325	若桜町	-	-
328	智頭町	-	-
329	八頭町	-	-
364	三朝町	-	-
370	湯梨浜町	*	*
371	琴浦町	*	*
372	北栄町	*	*
384	日吉津村	約 30	約 10
386	大山町	*	*
389	南部町	約 30	約 10
390	伯耆町	*	*
401	日南町	-	-
402	日野町	-	-
403	江府町	-	-
合計		約 8,400	約 3,300

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-28(7) 市町村別の車中泊避難者数：F55断層（津波：大すべり右側）：被災1週間後
：冬18時（人）

市町村		避難所 避難者数	車中泊 避難者
201	鳥取市	約 2,000	約 770
202	米子市	約 6,200	-
203	倉吉市	約 760	約 290
204	境港市	約 1,800	約 700
302	岩美町	約 150	約 60
325	若桜町	*	*
328	智頭町	-	-
329	八頭町	*	*
364	三朝町	*	*
370	湯梨浜町	約 400	約 160
371	琴浦町	約 610	約 240
372	北栄町	約 410	約 160
384	日吉津村	約 150	約 60
386	大山町	約 980	約 380
389	南部町	約 30	約 10
390	伯耆町	約 10	*
401	日南町	-	-
402	日野町	-	-
403	江府町	*	*
合計		約 13,000	約 5,200

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-28(8) 市町村別の車中泊避難者数：F55 断層（津波：大すべり左側）：被災 1 週間後
：冬 18 時（人）

市町村	避難所 避難者数	車中泊 避難者
201 鳥取市	約 2,000	約 760
202 米子市	約 6,200	-
203 倉吉市	約 760	約 290
204 境港市	約 1,900	約 720
302 岩美町	約 160	約 60
325 若桜町	*	*
328 智頭町	-	-
329 八頭町	*	*
364 三朝町	*	*
370 湯梨浜町	約 400	約 160
371 琴浦町	約 610	約 240
372 北栄町	約 410	約 160
384 日吉津村	約 150	約 60
386 大山町	約 980	約 380
389 南部町	約 30	約 10
390 伯耆町	約 10	*
401 日南町	-	-
402 日野町	-	-
403 江府町	*	*
合計	約 14,000	約 5,200

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-28(9) 市町村別の車中泊避難者数：F55 断層（津波：大すべり中央）：被災 1 週間後
：冬 18 時（人）

市町村	避難所 避難者数	車中泊 避難者
201 鳥取市	約 2,000	約 760
202 米子市	約 6,200	-
203 倉吉市	約 760	約 290
204 境港市	約 1,800	約 710
302 岩美町	約 160	約 60
325 若桜町	*	*
328 智頭町	-	-
329 八頭町	*	*
364 三朝町	*	*
370 湯梨浜町	約 410	約 160
371 琴浦町	約 610	約 240
372 北栄町	約 410	約 160
384 日吉津村	約 150	約 60
386 大山町	約 980	約 380
389 南部町	約 30	約 10
390 伯耆町	約 10	*
401 日南町	-	-
402 日野町	-	-
403 江府町	*	*
合計	約 13,000	約 5,200

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。

概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入

表 5.3-28(10) 市町村別の車中泊避難者数：佐渡島北方沖断層：被災 1 週間後（人）

市町村		避難所 避難者数	車中泊 避難者
201	鳥取市	約 40	約 10
202	米子市	約 10	-
203	倉吉市	-	-
204	境港市	約 220	約 90
302	岩美町	約 10	*
325	若桜町	-	-
328	智頭町	-	-
329	八頭町	-	-
364	三朝町	-	-
370	湯梨浜町	*	*
371	琴浦町	-	-
372	北栄町	-	-
384	日吉津村	-	-
386	大山町	*	*
389	南部町	-	-
390	伯耆町	-	-
401	日南町	-	-
402	日野町	-	-
403	江府町	-	-
合計		約 270	約 110

*：数人 -：避難者なし

(注) 今回の被害想定は、マクロの被害を把握する目的で実施しているため、数量はある程度幅をもって見る必要がある。
概ね2桁の有効数字となるよう以下の方法で四捨五入を行っており、合計が一致しない場合がある。

・1,000未満：1の位を四捨五入 ・1,000以上10,000未満：10の位を四捨五入 ・10,000以上：100の位を四捨五入